

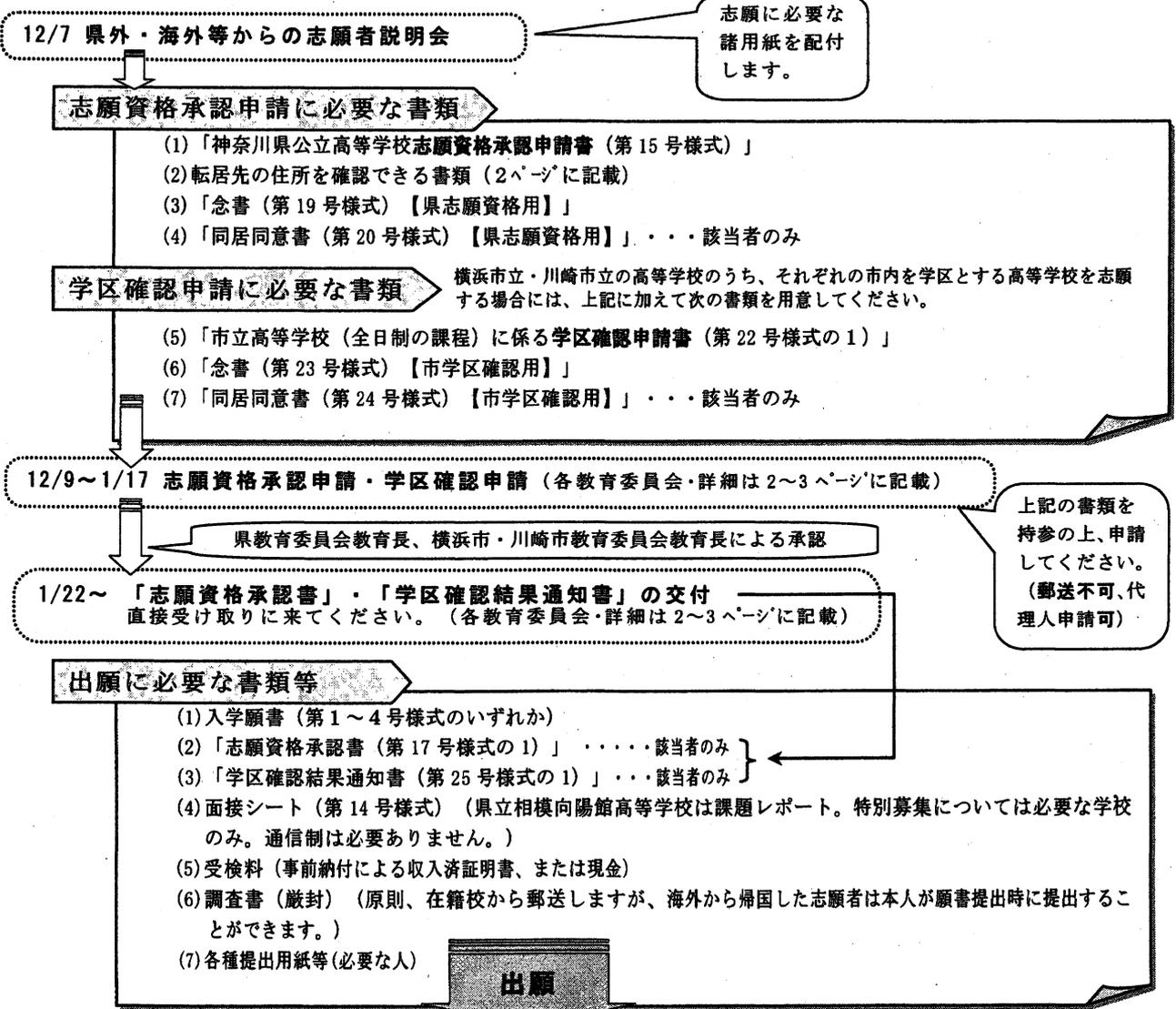
令和2年度神奈川県公立高等学校入学者選抜 志願者説明会資料及び様式集

—目 次—

I 出願にあたって必要な手続きについて	
1 入学者選抜の手続きと日程	1
2 志願資格	2
3 志願資格承認申請の手続	2
4 学区確認申請の手続	3
II 入学者選抜の選考の方法等について	
1 共通選抜	4
2 定通分割選抜	5
3 海外帰国生徒特別募集	5
4 在県外国人等特別募集	5
III 入学願書の提出から合格発表まで	
1 入学願書の提出	6
2 調査書の提出	6
3 志願変更	7
4 志願取消	7
5 受検方法の申請	7
6 学力検査等	8
7 合格発表	8
IV 志願資格承認申請・学区確認申請の事由一覧	9
V 神奈川県公立高等学校一覧	11
VI 教育相談の窓口一覧	16
VII 各様式の記入例	
1 神奈川県公立高等学校入学志願資格承認申請書（第15号様式）記入例	17
2 市立高等学校（全日制の課程）に係る学区確認申請書 （第22号様式の1）記入例	18
3 入学願書記入例	19
4 志願変更願（第13号様式）記入例	23
5 海外からの移住者等を保護者とする志願者の受検方法等申請書 （第5号様式）記入例	24
様式集	26

I 出願にあたって必要な手続きについて

1 入学者選抜の手続きと日程



共通選抜、特別募集等 (全日制・定時制・通信制※)

- 1/28～30 募集期間**
志願する高等学校へ直接書類を提出してください。
 - 2/4～6 志願変更期間**
(一般⇄一般 特別⇄特別 一般⇄特別 異なる課程間も可能)
 - (2/5～10 調査書提出 (土曜日及び日曜日を除く。))**
 - 2/14 学力検査** (特色検査を行う学校もあります。)
 - 2/17・18 面接** (特色検査を行う学校もあります。)
 - 2/20 追検査**
 - 2/28 合格発表**
- ※ 共通選抜において一部の高等学校では、2/19が面接及び特色検査の検査日となる場合があります。
※ 通信制の検査 (作文) は2/14・17・18のいずれかに行われます。

特別募集に出願する人は、志願資格を確認する必要があります。詳しいことは、5ページの該当項目をご覧ください。

連携募集 (県立光陵高等学校を除く。) 及びインクルーシブ教育実践推進校特別募集の追検査は2/25になります。

(注) 定通分割選抜 (定時制 (夜間)・通信制※)

- 3/3・4 募集期間**
志願する高等学校へ直接書類を提出してください。
 - 3/5・6 志願変更期間** (定時制⇄通信制も可能です。)
 - (3/3～6・9 調査書提出)**
 - 3/12 学力検査**
 - 3/12・13 面接**
 - 3/18 合格発表**
- ※ 通信制の検査 (作文) は3/12・13のいずれかに行われます。

定通分割選抜は令和2年度の入学選抜において国・公・私立高等学校または特別支援学校に合格している人は志願できません。(入学手続きをしていない場合も含まれます。)

2 志願資格

平成17年4月1日以前に出生し、令和2年3月31日までに中学校を卒業または卒業見込みの人、またはこれに準ずると認められた人で、次の条件を満たしていることが必要です。(詳細は本日配付の「志願のてびき-全日制の課程・別科-」(以下、「志願のてびき」)2ページを参照してください。)

(全日制) 志願者本人とその保護者がともに神奈川県に住所を有していること
(定時制・通信制) 志願者本人の住所または勤務地が神奈川県内にあること

※上記枠内の下線部を満たしていない場合は、神奈川県教育委員会教育長の志願の承認申請が必要となります。

※定時制または通信制のみを志願する場合は、入学願書提出時に「神奈川県公立高等学校(定時制・通信制の課程、別科)入学志願資格承認申請書」(第18号様式)を証明する書類とともに提出することで、志願資格の承認申請をすることができます。県外居住で本県での勤務を予定している場合は、勤務予定先の所在地および雇用を証明する書類を添付してください。なお、申請書は志願先の高等学校にあります。

3 志願資格承認申請の手続

(1) 対象者

保護者の転勤等に伴い、志願者および保護者が令和2年4月1日までに神奈川県内に転居する予定の公立高等学校志願者(定時制の場合は、志願者本人のみで可)

(2) 申請期間と受付場所

申請期間	受付時間	受付場所(*)
令和元年12月9日(月)から 令和2年1月17日(金)まで	午前9時~正午、午後1時~午後4時 (土、日、休日および12月29日~ 1月3日を除く。)	神奈川県教育委員会高校教育課 (横浜市中区日本大通33 住宅供給公社ビル5階)

※郵送による書類の提出は認めていません。

*受付場所は、本日配付の「志願のてびき」29ページの案内図で確認してください。

(3) 提出(提示)書類

下記書類のア、イ、ウが必要です。(そのほか、エが必要となる場合があります。)

ア 志願資格承認申請書(第15号様式)

- 「中学校長意見及び副申欄」に、神奈川県以外の公立高等学校に志願しないことを、在籍(出身)中学校に証明してもらい、提出してください。
- 海外現地校出身者で、中学校長の証明の記入や押印ができない場合は、卒業(見込み)証明書を提示してください。

イ 転居先の住所を確認できる次のa~eのいずれかの書類またはその写し

(※県外から転居予定の方に提示していただくものです。住民票での確認は行いません。)

- a 家屋の登記簿謄本又は登記事項証明書(発行後6ヶ月以内のもの)
- b 建築確認通知書、建築計画確認書、入居決定通知書、売買契約書のいずれか
(転居先の建物が建築中の場合等)
- c 公団住宅、公舎、社宅へ入居する場合は、その管理者の証明書
- d 家主との契約書(契約予定を含む)
- e その他、転居の事実を証明できるもの

*書類は、内容確認後、
その場でお返しします。

ウ 念書(第19号様式【県志願資格用】)

- 志願先の高等学校長から入学の許可があっても、転居とりやめのときは入学を辞退する旨を記載し、提出してください。

エ 同居同意書(第20号様式【県志願資格用】)

- ウの書類の名義が志願者の保護者でない場合に必要となります。名義人が志願者および保護者と同居することに同意していることを記載し、提出してください。

(4) 志願資格承認書の交付

申請の事由が適当であると認められる人に対して、次のとおり「神奈川県公立高等学校入学志願資格承認書」(第17号様式の1)(以下「志願資格承認書」)を交付します。

交付期間	受付時間	受付場所
令和2年1月22日(水)以降	午前9時～正午、午後1時～午後4時 (土、日および休日を除く。)	神奈川県教育委員会高校教育課 (横浜市中区日本大通33 住宅供給公社ビル5階)

※ 入学願書提出時に必要になりますので、間に合うように受領してください。なお、郵送での交付は行いません。

4 学区確認申請の手続 ※ 県立、横須賀市立高等学校のみを志願する場合は必要ありません。

(1) 学区確認申請が必要な高等学校。カッコ内は課程または学科

(横浜市立) 桜丘高等学校、金沢高等学校、東高等学校(*1)、戸塚高等学校[全 単位制普通科一般コース]、南高等学校、みなと総合高等学校(*2)、横浜総合高等学校
(川崎市立) 川崎高等学校[全・定 普通科]、橋高等学校[全・定 普通科]、高津高等学校[全・定 普通科]、幸高等学校[全 普通科]

海外帰国生徒特別募集(*1)及び在県外国人等特別募集(*2)は、県内のどの地域からでも志願できます。

(2) 申請期間と受付場所

申請期間	受付時間	受付場所(*)
令和元年 12月9日(月)から 令和2年 1月17日(金)まで	午前9時～正午 午後1時～午後4時 (土、日、休日および 12月29日～1月3日 を除く。)	横浜市立高等学校 横浜市教育委員会事務局学校教育企画部高校教育課 (横浜市中区真砂町2-12 関内駅前第一ビル5階) 川崎市立高等学校 川崎市教育委員会事務局学校教育部指導課 (川崎市川崎区官本町6 明治安田生命川崎ビル4階)

※郵送による書類の提出は認めていません。

*受付場所は、本日配付の「志願のてびき」29ページの案内図で確認してください。

(3) 提出(提示)書類

ア 学区確認申請書(全日制は第22号様式の1、定時制は第22号様式の2)

・「中学校長の記入欄」に、中学校で必要事項を記入し、押印してもらってください。

イ 転居先の住所が確認できる書類(※住民票での確認は行いません。)

・志願資格承認申請に必要な書類(2ページの3の(3)イ参照)と同じ書類

ウ 念書(第23号様式【市学区確認用】)

・志願先の高等学校長から入学の許可があっても、転居とりやめの時は入学を辞退する旨を記載し、提出してください。

エ 同居同意書(第24号様式【市学区確認用】)・・・該当する方のみ

・イの書類の所有者名義または賃貸人名義が志願者の保護者でない場合に必要となります。名義人が志願者及び保護者と同居することについて同意している旨を記載し、提出してください。

(4) 結果通知書の交付

申請の事由が適当であると認められる人に対して、次のとおり「市立高等学校(全日制の課程)に係る学区確認結果通知書(第25号様式の1)」(以下「学区確認結果通知書」)を交付します。

交付期間	受付時間	受付場所
令和2年 1月22日(水)以降	午前9時～正午、午後1時～午後4時 (土、日および休日を除く。)	横浜市立高等学校……横浜市教育委員会事務局学校教育企画部高校教育課 川崎市立高等学校……川崎市教育委員会事務局学校教育部指導課

※ 入学願書提出時に必要になりますので、間に合うように受領してください。なお、郵送での交付は行いません。

県内から、前記の横浜、川崎市立高等学校へ志願する場合、学区確認申請が必要となる場合があります。

<学区確認申請が必要ない場合について>

志願者が公立以外の県内の中学校(※1)に在学し、保護者(※2)と県内の同一の場所に住んでおり、令和2年4月1日までに転居(※3)を予定していない場合、学区確認申請の必要はありません。

※1 ここでいう中学校は、中学校に準ずる学校(文部科学大臣が認定した在外教育施設と同等の日本国内にある外国の教育施設「外国人学校等」)若しくは義務教育学校又は中等教育学校の前期課程を含みます。

※2 保護者の一方と別居している場合には申請が必要となる場合があります。

※3 転居を予定していても、同一市内の転居の場合は学区確認申請は必要ありません。

<学区確認申請の省略について>

学区確認申請が必要であっても、9～10ページにある「[別表] 志願資格承認申請・学区確認申請の事由一覧」の事由によっては、入学願書に中学校長がレ点をつけることにより、学区確認申請が省略できます。

- 横浜総合高等学校又は川崎市立の高等学校の定時制の課程普通科のみを志願する場合は「志願のてびき一定時制の課程・通信制の課程」を参照してください。

II 入学者選抜の選考の方法等について

1 共通選抜

- (1) 全日制の課程および定時制の課程 (クリエイティブスクール、県立横浜国際高等学校、県立横浜明朋高等学校および県立相模向陽館高等学校を除く。)

《第1次選考》……………募集人員の90%まで、調査書の評定、学力検査、面接、特色検査(実施する場合)の結果をもとに、下記の数値算出の方法で選考します。

《資料の整わない者の選考》……参考にできる資料を活用して、第1次選考合格者に相当する者であるかを判断し、適正に選考します。

《第2次選考》……………調査書の評定を用いずに、下記の数値算出の方法で募集人員まで選考します。

数値算出の方法

調査書の評定(A)・学力検査(B)・面接の結果(C)を100点満点換算した(a)・(b)・(c)を用います。

調査書の学習の記録

$A = (\text{第2学年の9教科の評定の合計}) + (\text{第3学年の9教科の評定の合計}) \times 2$
・各教科の評定を一定の範囲(3教科まで、各2倍以内)で重点化することがあります。

学力検査の結果

$B = \text{学力検査(3~5教科)の各教科の得点合計}$
・各教科の得点を一定の範囲(2教科まで、各2倍以内)で重点化することがあります。

面接の結果

$C = \text{観点ごとに評価し点数化したものの合計}$

第一次選考
合計数値

$\text{合計数値 } S_1 = (a) \times f + (b) \times g + (c) \times h$

比率(f, g, h)は2以上の整数とし、 $f+g+h=10$ となるように各学校で定めます。

特色検査を実施する場合 特色検査の結果(D)を100点満点に換算した(d)を加えます。

$\text{合計数値 } S_1 = (a) \times f + (b) \times g + (c) \times h + (d) \times i$ (iは5以下の整数とします。)

第二次選考
合計数値

$\text{合計数値 } S_2 = (b) \times g + (c) \times h$

(a)点は使用せず、 $g+h=10$ となるように各学校で定めます。

特色検査を実施する場合 特色検査の結果(D)を100点満点に換算した(d)を加えます。

$\text{合計数値 } S_2 = (b) \times g + (c) \times h + (d) \times i$ (iは5以下の整数とします。)

※ 各高等学校の検査の詳細、学力検査等の重点化、数値算出に用いる比率f~iについては本日配付した「募集案内」の14~30ページ「9 神奈川県公立高等学校入学者選抜選考基準」、特色検査については31~33ページ「10 特色検査の概要」を参照してください。

- (2) クリエイティブスクール (県立田奈高等学校、県立釜利谷高等学校、県立横須賀南高等学校(福祉科を除く。)、県立大井高等学校、県立大和東高等学校) (全日制の課程 普通科)

学力検査は行いません。面接および自己表現検査の結果と、調査書の観点別学習状況をもとに総合的に選考します。調査書の評定は使いません。

- (3) 県立横浜国際高等学校 (全日制の課程 単位制国際科 国際バカロレアコースを除く国際科・国際バカロレアコース)

学力検査、面接および特色検査の結果と、調査書の学習の記録をもとに総合的に選考します。

- (4) 県立横浜明朋高等学校 (定時制の課程 単位制普通科 午前部・午後部)

学力検査および面接の結果と、調査書の観点別学習状況をもとに総合的に選考します。調査書の評定は使いません。

- (5) 県立相模向陽館高等学校 (定時制の課程 単位制普通科 午前部・午後部)

学力検査、面接および自己表現検査の結果と、調査書の観点別学習状況をもとに総合的に選考します。調査書の評定は使いません。

- (6) 通信制の課程

作文の結果および調査書の学習の記録をもとに総合的に選考します。

資料が整わない者について

学習の記録欄は、各教科とも、中学校学習指導要領に示す目標に照らして、その実現状況について観点別学習状況の評価を行い、その評価に基づき総合的に評価した評定(目標に準拠した評価)を記入します。

海外の現地校等に在籍していた人や、出身(在学)中学校から提出された調査書の学習の記録の欄が10段階評価で記入されていたり、相対評価で記入されていたりする人など、中学校学習指導要領に示す目標に準拠した評価でない場合は、選考にあたって資料の整わない者として扱われます。

選考にあたって資料の整わない者として扱われる場合は、参考にできる資料を活用し、当該高等学校の選考対象者の中でどのくらいの順位に相当するかを判断し、前記の選考方法に沿って選考しますので、資料が整わないからといって不利になることはありません。

2 定通分割選抜

定時制(夜間)、通信制で行われます。定時制は調査書の評定、学力検査、面接の結果をもとに、定められた数値算出の方法(「志願のてびき一定時制の課程・通信制の課程」)10ページ参照)で選考します。通信制は作文、調査書の評定をもとに総合的に選考します。

3 海外帰国生徒特別募集

(1) 志願資格

一般募集への志願資格(2ページ)の他、次の条件を満たす必要があります。

- ・原則として保護者の勤務等の関係で、継続して2年以上外国に在住して帰国した日が平成29年4月1日以降であること。

(2) 選考

調査書、学力検査、作文及び面接の結果を資料として、各校が定めた「選考基準」に基づき総合的な選考を行います。なお、県立横浜国際高等学校国際科国際バカロレアコースにおいては、上記の資料に加え特色検査の結果を資料として、総合的な選考を行います。

※ 海外帰国生徒特別募集に志願した方は、海外帰国生徒特別募集以外の他の募集に同時に志願することはできません。

4 在県外国人等特別募集

(1) 志願資格

一般募集への志願資格(2ページ)の他、次の条件を満たす必要があります。

- ・外国籍を持っていること、または、日本国籍を取得してから3年以内(令和2年2月1日現在)であること。
- ・入国後の在留期間が通算で3年以内(令和2年2月1日現在)であること。

(2) 選考

調査書、学力検査及び面接の結果を資料として、各校が定めた「選考基準」に基づき総合的な選考を行います。

※ 在県外国人等特別募集に志願した方は、在県外国人等特別募集以外の他の募集に同時に志願することはできません。

Q & A

Q1 海外から帰国して高等学校を受検する人は、学力検査の成績だけで選考されると聞いていますが、不利にならないでしょうか。

A1 選考にあたっては、学力検査だけでなく面接の結果、調査書の学習の記録等を資料とします。日本人学校の成績は県内公立中学校と同等の評定として扱います。

なお、海外現地校出身者等、調査書が中学校学習指導要領に示す目標に準拠した評価によって作成できない受検者は、資料の整わない者として、参考にすることができる資料を活用し、当該高等学校の志願者の中でどのくらいの順位に相当するかを判断し、選考基準に沿って選考しますので不利になることはありません。

Q2 海外帰国生徒特別募集の志願資格の確認に必要な書類は何ですか。

A2 海外帰国生徒特別募集の志願者は、志願資格(継続して2年以上外国に在住していたことおよび平成29年4月1日以降に帰国したこと)の確認をします。入学願書を提出する際に、志願者と保護者のパスポート、保護者が海外で勤務した期間を証明する書類(任意の様式)または出入(帰)国記録(※)が必要になりますので、事前に志願する高等学校にご確認ください。

※ 詳細は、法務省出入国在留管理庁ホームページ「出入(帰)国記録に係る開示請求について」を参照してください。

Q3 在県外国人等特別募集の志願資格の確認に必要な書類は何ですか。

A3 在県外国人等特別募集の志願者は、志願資格の確認をします。入学願書を提出する際に、在留カードなど外国籍であること(または日本国籍を取得してから3年以内(令和2年2月1日現在)であること)を証明するものと、日本に入国してからの在留期間が通算で3年以内(令和2年2月1日現在)であることを証明する書類としてパスポート等が必要になりますので、事前に志願する高等学校にご確認ください。

(注意) 出入国の際、一部の空港において出入国審査を行う、いわゆる「自動化ゲート」を通過した場合、パスポートには期日等がスタンプ(証印)されません。Q2及びQ3について、志願資格の確認をするための書類としてパスポートを利用する場合は、自動化ゲートの通過後(出国時は搭乗前、入国時は税関検査前までに)必ず、各審査場事務室の職員にスタンプ(証印)についてお問合せください。

Ⅲ 入学願書の提出から合格発表まで

本日配付の「志願のてびき」で、必ず詳細を確認してください。
書類の提出は、代理でも結構ですが、**郵送での提出はできません。**

1 入学願書の提出

入学願書（19～22ページの記入例参照）を次の期間に提出してください。

区分	課程	提出期間	受付時間	提出先	「志願のてびき」掲載ページ
共通選抜・特別募集等	全日制の課程	令和2年 1月28日(火) ～1月30日(木)	午前9時～正午、午後1時～午後4時 (ただし、1月30日(木)は午前9時～正午) 午後2時～午後7時 (ただし、1月30日(木)は、 午後2時～午後4時)	志願先の 高等学校	2ページ
	定時制の課程(県立横浜 明朋高等学校・県立相模 向陽館高等学校・横浜市 立横浜総合高等学校)				「志願のてびき一定時 制の課程・通信制の課程 —」1ページ ※
	定時制の課程(上記以 外)				
	通信制の課程				
定通分割選抜	定時制の課程(夜間)	令和2年 3月3日(火) 3月4日(水)	3月3日(火)は、午後2時～午後7時 3月4日(水)は、午後2時～午後4時 3月3日(火)は、 午前9時～正午、午後1時～午後5時 3月4日(水)は、 午前9時～正午、午後1時～午後4時	志願先の 高等学校	「志願のてびき一定時 制の課程・通信制の課程 —」7ページ ※
	通信制の課程				

※ 「志願のてびき一定時制の課程・通信制の課程—」は、必要な方のみお持ちください。

2 調査書の提出

調査書は、中学校から志願先の高等学校へ提出することになっています。

ただし、日本人学校在籍の場合は、入学願書の提出期日に、志願者や保護者が持参し提出してください。

区分	課程	提出期間	受付時間
共通選抜・特別募集等	全日制の課程	令和2年 2月5日(水) ～2月10日(月) (ただし、土・日を 除く。)	2月5日(水)は午後1時～午後4時
	定時制の課程		2月6日(木)、2月7日(金)及び2月10日(月)は 午前9時～正午、午後1時～午後4時
	通信制の課程		
定通分割選抜	定時制の課程(夜間)	令和2年 3月3日(火) ～3月9日(月) (ただし、土・日を 除く。)	午後2時～午後7時
	通信制の課程		午前9時～正午、午後1時～午後5時

◎ 日本人学校在籍の場合で、志願者または保護者が提出する場合の注意
調査書1部を厳封したものを、志願先の高等学校に提出してください。

◀ 調査書を開封した場合は無効となりますのでご注意ください。

3 志願変更

募集期間を同じくする募集を行う高等学校に限り志願変更ができます。「志願変更願」(第13号様式)はこの資料の巻末の様式集にあります。記入方法は23ページの記入例を参照してください。

区分	課程	志願変更期間	受付時間	「志願のてびき」掲載ページ
共通選抜・特別募集等	全日制の課程	令和2年 2月4日(火) ～2月6日(木)	2月4日(火)および5日(水)は 午前9時～正午 午後1時～午後4時 2月6日(木)は午前9時～正午	3・4ページ
	定時制の課程(県立横浜明 朋高等学校・県立相模向陽 館高等学校・横浜市立横浜 総合高等学校)			「志願のてびき一 定時制の課程・通信 制の課程」3ペー ジ
	定時制の課程(上記以外)		2月4日(火)および5日(水)は 午後2時～午後7時 2月6日(木)は午前9時～正午	
	通信制の課程		2月4日(火)および5日(水)は 午前9時～正午 午後1時～午後4時 2月6日(木)は午前9時～正午	
定通分割選抜	定時制の課程(夜間)	令和2年 3月5日(木) 3月6日(金)	3月5日(木)は午後2時～午後7時 3月6日(金)は午前9時～正午 午後1時～午後4時	「志願のてびき一 定時制の課程・通信 制の課程」8・9 ページ
	通信制の課程		3月5日(木)は午前9時～正午 午後1時～午後7時 3月6日(金)は午前9時～正午 午後1時～午後4時	

- 一般募集から特別募集、特別募集から一般募集、特別募集から特別募集および異なる課程への志願変更も可能です。

ただし、特別募集に志願変更ができる人は、それぞれの特別募集の志願資格を満たしている人に限られます。
また、定時制の課程、通信制の課程から全日制の課程へ志願変更ができる人は、全日制の課程の志願資格を満たしている人に限られます。

- 志願状況については、神奈川県ホームページの「記者発表」をクリックして、神奈川県記者発表資料の中で次の□内の期日の記者発表資料から、該当するタイトルをクリックすることでご覧いただけます。

◆「共通選抜」、「特別募集」等(全ての課程)

- 志願状況：1月30日木曜日付け発表資料＝1月31日(金)13:00以降閲覧可能
- 志願変更の状況：2月6日木曜日付け発表資料＝2月7日(金)13:00以降閲覧可能

◆「定通分割選抜」(定時制(夜間)及び通信制)

- 志願状況：3月4日水曜日付け発表資料＝3月5日(木)13:00以降閲覧可能
- 志願変更の状況：3月6日金曜日付け発表資料＝3月7日(土)13:00以降閲覧可能

4 志願取消

志願者本人の事情により志願を取り消す場合は、次のとおり、速やかに「志願取消届(第12号様式)」(この資料の巻末の様式集にあります。)を提出してください。

- 志願取消届に必要な事項を記載し、中学校長の確認欄に確認印を受けたものを作成し、志願先の高等学校に提出してください。(一般募集も特別募集も同様の手続きです。)

5 受検方法の申請

日本に移住して6年以内(令和2年2月1日現在)の人が一般募集に志願する場合は、受検方法を申請することができます。次の期日までに志願先の高等学校に相談及び申請をしてください。

共通選抜 [全日制・定時制・通信制] 令和2年1月20日(月)
定通分割選抜 [定時制(夜間)・通信制] 令和2年3月2日(月)

申請をする際は、「海外からの移住者等を保護者とする志願者の受検方法等申請書(第5号様式)」(この資料の巻末の様式集にあります。)を使用してください。また24ページに記入例がありますので、参考にしてください。

6 学力検査等

学力検査等を次の期日に受検します。

区分	課程	検査の期日	「志願のてびき」掲載ページ
共通選抜	全日制の課程	○学力検査…令和2年2月14日(金) ○面接・特色検査	4～6ページ
	定時制の課程	……令和2年2月14日(金)・17日(月)・18日(火)のいずれか(※) ○追検査…令和2年2月20日(木)	「志願のてびき一定時制の課程・通信制の課程」3～5ページ
	通信制の課程	○作文……令和2年2月14日(金)・17日(月)・18日(火)のいずれか	
特別募集等	全日制の課程 (海外帰国生徒特別募集)	○学力検査・面接・作文 ……令和2年2月14日(金)	12・13ページ
	全日制の課程 (中途退学者募集)	○追検査…令和2年2月20日(木)	21・22ページ
	全日制の課程 (在県外国人等特別募集)	○学力検査・面接 ……令和2年2月14日(金)	16・17ページ
	定時制の課程 (在県外国人等特別募集)	○追検査…令和2年2月20日(木)	「志願のてびき一定時制の課程・通信制の課程」15ページ
定通分割選抜	定時制の課程 (夜間)	○学力検査…令和2年3月12日(木) ○面接・特色検査 ……令和2年3月12日(木)・13日(金)のいずれか	「志願のてびき一定時制の課程・通信制の課程」9・10ページ
	通信制の課程	○作文……令和2年3月12日(木)・13日(金)のいずれか	

※ 学力検査を5教科実施する高等学校では、2月14日(金)に面接および特色検査は実施しません。

また、志願状況により、2月19日(水)に面接および特色検査を実施する高等学校があります。

* インクルーシブ教育実践推進校特別募集における検査の期日につきましては、「志願のてびき—全日制の課程・別科—」19ページを参照してください。

7 合格発表

次の期日に合格発表を行いますので、志願先の高等学校の窓口で受検票を提示し、可否結果通知書の入った封筒を受け取ってください。また、合格した学校を入学辞退する場合は、速やかに、「入学辞退届(第21号様式)」(この資料の巻末の様式集にあります。)を合格した高等学校へ提出してください。

区分	課程	合格発表の期日	場所	発表の時間	「志願のてびき」掲載ページ
共通選抜・特別募集等	全日制の課程	令和2年2月28日(金)	志願先の高等学校	午前10時～正午 午後3時～午後6時 午前10時～正午 午後1時～午後3時	7・8ページ
	定時制の課程(県立横浜明朋高等学校・県立相模向陽館高等学校・横浜市立横浜総合高等学校)				「志願のてびき一定時制の課程・通信制の課程」6ページ
	定時制の課程(上記以外)				
定通分割選抜	通信制の課程	令和2年3月18日(水)		午後3時～午後6時 午前10時～正午 午後1時～午後3時	「志願のてびき一定時制の課程・通信制の課程」10・11ページ
	定時制の課程(夜間)				

* 合格した場合は合格通知書を受け取ってください。

区分	事由番号	申請事由	申請者	志願資格		学区確認		提示又は申請書に添付する書類	
				申請様式	申請先	申請様式	申請先		
6 県教育長の志願資格の承認を必要とする者	全課程の志願資格	1	県外から本県に転居予定の者 ・保護者の転勤等に伴い、志願者及び保護者が令和2年4月1日までに県内に居住する予定の者	志願者及び保護者	第15号様式	県教育長	第22号様式の1	横浜市・川崎市各教育委員会教育長(以下「市教育長」という。)	ア 転居予定先の住所を確認できる次のaからeのいずれかの書類又はその写しを提示 a. 家屋の登記簿謄本又は登記事項証明書(発行後、6ヶ月以内のもの) b. 建築確認通知書、建築計画確認書、入居決定通知書、売買契約書のいずれか(転居先の建物が建築中の場合等) c. 公団住宅、公舎、社宅へ入居する場合は、その管理者の証明書 d. 家主との契約書(契約予定を含む。) e. その他、転居予定の事実を証明できるもの イ 転居取りやめの時は、入学を辞退する旨の念書(第19号様式【県志願資格用】と第23号様式【市学区確認用】を1部ずつ)を添付 ウ アの書類の所有者名義または賃借人名義が志願者の保護者でない場合は、名義人による同居同意書(第20号様式【県志願資格用】と第24号様式【市学区確認用】を1部ずつ)を添付
		2	山梨、静岡両県の本県に隣接する特定の地域に居住しており、通学の便宜上本県の最寄りの高等学校へ志願することが妥当と認められる者	志願者及び保護者	第15号様式	県教育長			住民票の写し等(本人・同居している保護者)を提示
		3	県外から県立海洋科学高等学校を志願する者で、原則として水産に関する学科を置く公立高等学校のない都道府県に居住する者	志願者及び保護者	第15号様式	県教育長			志願者本人が水産に関する学科を置く公立高等学校のない都道府県に居住することを証明するもの(住民票の写し等)を提示
		4	その他特別な事情がある者 (例)・保護者である父母双方がいない場合に、未成年後見人がいまだに定められていない者	志願者及び保護者	第15号様式	県教育長	第22号様式の1	市教育長	特別な事情を証明できるもの (例)・中学校長による申し立て(第15号様式の中学校長意見及び副申欄に記載)を提出
		5	インクルーシブ教育実践推進校特別募集の通学地域に係る県教育長の志願の承認を必要とする者	志願者及び保護者	第29号様式	県教育長			ア 申請事由番号1のAに同じ イ 転居取りやめの時は、入学を辞退する旨の念書(第30号様式【インクルーシブ教育実践推進校特別募集用】)を添付 ウ アの書類の所有者名義または賃借人名義が志願者の保護者でない場合は、名義人による同居同意書(第31号様式【インクルーシブ教育実践推進校特別募集用】)を添付 エ その他特別な事情がある場合は、その事実を証明できるもの
	6	令和2年4月1日までに県外から本県に転居予定の者	志願者	第18号様式	志願先高等学校長	第22号様式の2	志願先高等学校長	申請事由番号1に同じ	
	7	県外居住であって、令和2年4月1日までに本県での勤務を予定する者(ただし、横浜市立横浜総合高等学校又は川崎市立高等学校の普通科を志願する場合は、当該市内に勤務を予定する者)	志願者	第18号様式	志願先高等学校長	第22号様式の2	志願先高等学校長	勤務予定先の所在地及び雇用を証明する書類を添付	

※ 横浜市立の高等学校について、全日制の課程の普通科、単位制による全日制の課程の普通科(音楽コースを除く。)及び総合学科においては学区確認申請を必要とする。(横浜市立横浜商業高等学校(別科を含む。)、横浜市立戸塚高等学校(単位制による全日制の普通科音楽コース及び定時制の課程)、横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校並びに特別募集における横浜市立高等学校の各学科においては学区確認申請を必要としない。)

川崎市立の高等学校について、全日制の課程及び定時制の課程における普通科においては学区確認を必要とする。(川崎市立川崎高等学校、川崎市立幸高等学校、川崎市立川崎総合科学高等学校及び川崎市立橋高等学校における専門学科においては学区確認申請を必要としない。)

区分	事由番号	申請事由	申請者	志願資格		学区確認		提示又は申請書に添付する書類
				申請様式	申請先	申請様式	申請先	
市教育長等の学区確認のみを必要とする者	横浜市立・川崎市立高等学校（全日制のうち全県学区のものを除く）の学区確認	8	県内に居住し志願資格を有する者で、中学校を卒業又は修了した者（外国人学校等を卒業又は修了した者も含む。）	志願者及び保護者		なし 入学願書に中学校長がレ点を記入[全日制願書]3番目の□		住民票の写し等（本人・同居している保護者）を中学校長に提示
		9	志願者及び保護者である父母の住所と、志願者の在学中学校の所在地が異なる地域（横浜市の内外又は川崎市の内外）にある、公立中学校の在学者	志願者及び保護者		なし 入学願書に中学校長がレ点を記入[全日制願書]3番目の□		
		10	県内での転居予定者 ・保護者の転勤等に伴い、志願者及び保護者が令和2年4月1日までに転居する予定の者（ただし、当該市内又は当該市外での転居予定である場合を除く。）	志願者及び保護者		第22号様式の1	市教育長	申請事由番号1に同じ ただし、書類イの念書は第23号様式【市学区確認用】を、書類ウの同居同意書は第24号様式【市学区確認用】をそれぞれ使用のこと。
		11	保護者の一方と県内に居住する志願者であって、保護者の他の一方が勤務の関係等により志願者と異なる地域（横浜市の内外又は川崎市の内外）に居住している者	志願者及び保護者		なし 入学願書に中学校長がレ点を記入[全日制願書]3番目の□		
		12	特別な事情により、保護者である父母双方と県内で別居している者、又は保護者である父母いずれか一方がいない場合に、保護者と県内で別居している者（当該市内又は当該市外における別居を除く。）	志願者及び保護者		第22号様式の1	市教育長	ア 住民票の写し等（本人・同居親族等）を提示 イ "（父母）を提示 ウ 特別な事情を証明できるものを添付
		13	志願者の未成年後見人が、志願者とは異なる県内の地域（横浜市の内外又は川崎市の内外）に居住している者	志願者及び保護者		第22号様式の1	市教育長	ア 住民票の写し等（本人・同居親族等）を提示 イ "（未成年後見人）を提示
		14	申請事由8～13に該当しない特別な事情がある者	志願者及び保護者		第22号様式の1	市教育長	ア 特別な事情を証明できるもの
	横浜市立・川崎市立高等学校（定時制のうち全県学区のものを除く）の学区確認	15	県内に居住し、中学校を卒業又は修了した者（外国人学校等を卒業又は修了した者も含む。）	志願者		なし 入学願書に中学校長がレ点を記入[定時制願書]2番目の□		ア 住民票の写し等（本人）を中学校長に提示
		16	志願者の住所と在学中学校の所在地が異なる地域（当該市の内外）にある、公立中学校の在学者	志願者		なし 入学願書に中学校長がレ点を記入[定時制願書]2番目の□		
		17	令和2年4月1日までに当該市内から市外（県内）へ、又は当該市外（県内）から市内へ転居する予定の者	志願者		第22号様式の2	志願先 高等学校長	申請事由番号1に同じ ただし、書類イの念書は市学区確認用第23号様式を使用のこと。
		18	県内の当該市外に居住又は令和2年4月1日までに当該市内から市外（県内）へ転居予定の者のうち、令和2年4月1日までに当該市内に勤務を予定する者	志願者		第22号様式の2	志願先 高等学校長	勤務予定先の所在地及び雇用を証明する書類を添付

（注1）学区確認については、横浜市立又は川崎市立の高等学校のうち、当該の市内全域を学区とする高等学校へ志願変更しようとする者で、かつ申請事由に該当する場合に手続きを行わなければならない。

（注2）学区確認の欄において、「なし 入学願書に中学校長がレ点を記入」と記載されているものについては、入学願書に中学校長がレ点を記入することによって、学区確認申請を省略することができる。

V 神奈川県公立高等学校一覧

(令和元年 11月)

(1) 普通科(単位制を除く)

(全一全日制、定一定時制)

高等学校名	所在地	電話番号	課程
(県立) 鶴見	横浜市鶴見区下末吉6-2-1	(045)581-4692	全
(〃) 横浜翠嵐	横浜市神奈川区三ツ沢南町1-1	(045)311-4621	全・定
(〃) 城郷	横浜市神奈川区三枚町364-1	(045)382-5256	全
(〃) 港北	横浜市港北区大倉山7-35-1	(045)541-6251	全
(〃) 新羽	横浜市港北区新羽町1348	(045)543-8631	全
(〃) 岸根	横浜市港北区岸根町370	(045)401-7872	全
(〃) 霧が丘	横浜市緑区霧が丘6-16-1	(045)921-6911	全
(〃) 白山	横浜市緑区白山4-71-1	(045)933-2231	全
(〃) 市ヶ尾	横浜市青葉区市ヶ尾町1854	(045)971-2041	全
(〃) 元石川	横浜市青葉区元石川町4116	(045)902-2692	全
(〃) 川和	横浜市都筑区川和町2226-1	(045)941-2436	全
(〃) 荏田	横浜市都筑区荏田南3-9-1	(045)941-3111	全
(〃) 新栄	横浜市都筑区新栄町1-1	(045)593-0307	全
(〃) 希望ヶ丘	横浜市旭区南希望ヶ丘79-1	(045)391-0061	全・定
(〃) 旭	横浜市旭区下川井町2247	(045)953-3301	全
(〃) 松陽	横浜市泉区和泉町7713	(045)803-3036	全
(〃) 瀬谷	横浜市瀬谷区東野台29-1	(045)301-6747	全
(〃) 瀬谷西	横浜市瀬谷区中屋敷2-2-5	(045)302-3535	全
(〃) 横浜平沼	横浜市西区岡野1-5-8	(045)313-9200	全
(〃) 光陵	横浜市保土ヶ谷区榎太坂1-7-1	(045)712-5577	全
(〃) 保土ヶ谷	横浜市保土ヶ谷区川島町1557	(045)371-7781	全
(横浜市立) 桜丘	横浜市保土ヶ谷区桜ヶ丘2-15-1	(045)331-5021	全
(県立) 舞岡	横浜市戸塚区南舞岡3-36-1	(045)823-8761	全
(〃) 上矢部	横浜市戸塚区上矢部町3230	(045)861-3500	全
(〃) 金井	横浜市栄区金井町100	(045)852-4721	全
(横浜市立) 戸塚	横浜市戸塚区汲沢2-27-1	(045)871-0301	定
(県立) 横浜南陵	横浜市港南区日野中央2-26-1	(045)842-3764	全
(〃) 永谷	横浜市港南区下永谷1-28-1	(045)824-2126	全
(〃) 柏陽	横浜市栄区柏陽1-1	(045)892-2105	全
(〃) 横浜緑ヶ丘	横浜市中区本牧緑ヶ丘37	(045)621-8641	全
(〃) 横浜立野	横浜市中区本牧間門40-1	(045)621-0261	全
(〃) 磯子 ※1	横浜市磯子区上中里町444	(045)772-0166	全
(〃) 氷取沢 ※2	横浜市磯子区氷取沢町938-2	(045)772-0606	全
(横浜市立) 南	横浜市港南区東永谷2-1-1	(045)822-1910	全
(〃) 金沢	横浜市金沢区瀬戸22-1	(045)781-5761	全
(県立) 新城	川崎市中原区下新城1-14-1	(044)766-7457	全
(〃) 住吉	川崎市中原区木月住吉町34-1	(044)433-8555	全
(川崎市立) 川崎	川崎市川崎区中島3-3-1	(044)244-4981	全・定 (二部制)
(〃) 橋	川崎市中原区中丸子562	(044)411-2640	
(県立) 川崎北	川崎市宮前区有馬3-22-1	(044)855-2631	全
(〃) 多摩	川崎市多摩区宿河原5-14-1	(044)911-7107	全
(〃) 生田	川崎市多摩区長沢3-17-1	(044)977-3800	全
(〃) 百合丘	川崎市多摩区南生田4-2-1	(044)977-8955	全
(〃) 生田東	川崎市多摩区生田4-32-1	(044)932-1211	全
(〃) 菅	川崎市多摩区菅馬場4-2-1	(044)944-4141	全
(〃) 麻生	川崎市麻生区金程3-4-1	(044)966-7766	全
(川崎市立) 高津	川崎市高津区久本3-11-1	(044)811-2555	全・定

※1 (県立) 磯子高等学校は、平成30(2018)年度入学者選抜から募集を停止しました。

※2 (県立) 氷取沢高等学校は、令和2(2020)年度に(県立)磯子高等学校と再編・統合し、(県立)横浜氷取沢高等学校になります。再編・統合後は、新しい高校の生徒として卒業します。

(1) 普通科(単位制を除く) —続き—

(全一全日制、定一定時制)

高等学校名	所在地	電話番号	課程
(川崎) 幸	川崎市幸区戸手本町1-150	(044) 522-0125	全
(麻溝台)	相模原市南区北里2-11-1	(042) 778-2731	全
(上鶴間)	相模原市南区上鶴間本町9-31-1	(042) 743-5622	全
(上溝)	相模原市中央区上溝6-5-1	(042) 762-0008	全
(相模原南)	相模原市中央区横山1-7-20	(042) 752-4133	全
(上溝南)	相模原市中央区上溝269	(042) 778-1981	全
(橋本)	相模原市緑区橋本8-8-1	(042) 774-0611	全
(相模田名)	相模原市中央区田名6786-1	(042) 761-3339	全
(城山)	相模原市緑区城山1-26-1	(042) 782-6565	全
(津久井)	相模原市緑区三ヶ木272-1	(042) 784-1053	全・定
(横須賀)	横須賀市公郷町3-109	(046) 851-0120	全・定
(横須賀大津)	横須賀市大津町4-17-1	(046) 836-0281	全
(追浜)	横須賀市夏島町13	(046) 865-4174	全・定
(津久井浜)	横須賀市津久井4-4-1	(046) 848-2121	全
(逗子)	逗子市池子4-1025	(046) 871-3218	全
(逗子葉)	逗子市桜山5-24-1	(046) 873-7322	全
(鎌倉)	鎌倉市七里ガ浜2-21-1	(0467) 32-4851	全
(七里ガ浜)	鎌倉市七里ガ浜東2-3-1	(0467) 32-5457	全
(大船)	鎌倉市高野8-1	(0467) 47-1811	全
(深沢)	鎌倉市手広6-4-1	(0467) 31-6600	全
(湘南)	藤沢市鶴沼神明5-6-10	(0466) 26-4151	全
(藤沢西)	藤沢市大庭3608-2	(0466) 87-2150	全
(湘南台)	藤沢市円行1986	(0466) 45-6600	全
(茅ヶ崎)	茅ヶ崎市本村3-4-1	(0467) 52-2225	全・定
(茅ヶ崎北陵)	茅ヶ崎市下寺尾128	(0467) 51-0311	全
(鶴嶺)	茅ヶ崎市円蔵1-16-1	(0467) 52-6601	全
(茅ヶ崎西浜)	茅ヶ崎市南湖7-12869-11	(0467) 85-0008	全
(寒川)	高座郡寒川町一之宮9-30-1	(0467) 74-2312	全
(平塚江南)	平塚市諏訪町5-1	(0463) 31-2066	全
(高浜)	平塚市高浜台8-1	(0463) 21-0417	全
(大磯)	中郡大磯町東町2-9-1	(0463) 61-0058	全
(二宮)	中郡二宮町一色1363	(0463) 71-3215	全
(秦野)	秦野市下大槻113	(0463) 77-1422	全
(秦野曾屋)	秦野市曾屋3613-1	(0463) 82-4000	全
(伊勢原)	伊勢原市田中1008-3	(0463) 95-2578	全・定
(伊志田)	伊勢原市石田1356-1	(0463) 93-5613	全
(小田原東)	小田原市東町4-12-1	(0465) 34-2847	全
(西湘)	小田原市酒匂1-3-1	(0465) 47-2171	全
(足柄)	南足柄市怒田860	(0465) 73-0010	全
(山北)	足柄上郡山北町向原2370	(0465) 75-0828	全
(厚木)	厚木市戸室2-24-1	(046) 221-4078	全
(厚木東)	厚木市王子1-1-1	(046) 221-3158	全
(厚木北)	厚木市下荻野886	(046) 241-8001	全
(厚木西)	厚木市森の里青山12-1	(046) 248-1705	全
(海老名)	海老名市中新田1-26-1	(046) 232-2231	全
(有馬)	海老名市社家240	(046) 238-1333	全
(愛川)	愛甲郡愛川町三増822-1	(046) 286-2871	全
(大和)	大和市つきみ野3-4	(046) 274-0026	全
(大和南)	大和市上和田2557	(046) 269-5050	全
(大和西)	大和市南林間9-5-1	(046) 276-1155	全
(座間)	座間市入谷2-262	(046) 253-2011	全
(綾瀬)	綾瀬市寺尾南1-4-1	(0467) 76-1400	全
(綾瀬西)	綾瀬市早川1485-1	(0467) 77-5121	全

(2) 普通科 (クリエイティブスクール)

高等学校名	所在地	電話番号	課程
(駐) 田 奈	横浜市青葉区桂台2-39-2	(045)962-3135	全
(〃) 釜 利 谷	横浜市金沢区釜利谷東4-58-1	(045)785-1670	全
(〃) 大 楠 ※3	横須賀市荻野14-1	(046)856-0024	全
(〃) 大 井	足柄上郡大井町西大井984-1	(0465)83-4101	全
(〃) 大 和 東	大和市深見1760	(046)264-1515	全

※3 (県立)大楠高等学校は、令和2(2020)年度に(県立)横須賀明光高等学校と再編・統合し、(県立)横須賀南高等学校になります。再編・統合後は、新しい高校の生徒として卒業します。

(3) 農業に関する学科 (単位制を除く)

(全一全日制、定一定時制)

高等学校名	所在地	電話番号	課程・学科
(駐) 平 塚 農 業 ※4	平塚市達上ヶ丘10-10	(0463)31-0944	全 { 園芸科学 食品科学 農業総合
(〃) 三 浦 初 声 ※5	三浦市初声町入江274-2 (和田キャンパス) 三浦市初声町和田3023-1	(046)889-1771 (和田キャンパス) (046)888-1036	定・園芸科学
(〃) 相 原	相模原市緑区橋本台4-2-1	(042)772-0331	全 { 畜産科学 食品科学 環境緑地
(〃) 中 央 農 業	海老名市中新田4-12-1	(046)231-5202	全 { 園芸科学 畜産科学 農業総合

※4 (県立)平塚農業高等学校(全日制)は、令和2(2020)年度に(県立)平塚商業高等学校(全日制)と再編・統合し、(県立)平塚農商高等学校になります。再編・統合後は、新しい高校の生徒として卒業します。

※5 (県立)平塚農業高等学校初声分校は、平成30(2018)年度に(県立)三浦臨海高等学校と再編・統合され、(県立)三浦初声高等学校になりました。定時制における園芸科学科は、平成30(2018)年度入学者選抜から募集を停止しました。

(4) 工業に関する学科

(全一全日制、定一定時制)

高等学校名	所在地	電話番号	課程・学科
(駐) 神 奈 川 工 業	横浜市神奈川区平川町19-1	(045)491-9461	全 { 機械・建設 電気・デザイン
(〃) 商 工	横浜市保土ヶ谷区今井町743	(045)353-0591	定 { 機械・建設 電気
(〃) 磯 子 工 業	横浜市磯子区森5-24-1	(045)761-0251	全・総合技術
(〃) 川 崎 工 科	川崎市中原区上平間1700-7	(044)511-0114	全 { 機械・電気 建設・化学
(〃) 向 の 岡 工 業	川崎市多摩区堰1-28-1	(044)833-5221	全・総合技術
(〃) 横 須 賀 工 業	横須賀市公郷町4-10	(046)851-2122	全 { 機械・建設 電気
(〃) 平 塚 工 科	平塚市黒部丘12-7	(0463)31-0417	全 { 機械・電気 化学
(〃) 藤 沢 工 科	藤沢市今田744	(0466)43-3402	全・総合技術
(〃) 小 田 原 城 北 工 業	小田原市栢山200	(0465)36-0111	全 { 機械・建設 電気・デザイン
(川崎市立) 川 崎 総 合 科 学	川崎市幸区小向仲野町5-1	(044)511-7336	定・機械・電気 全 { 情報工学 総合電気 電子機械 建設工学 デザイン 定・クリエイト工学

(5) 商業に関する学科

(全一全日制、定一定時制)

高等学校名	所在地	電話番号	課程・学科
(県立) 商 工	横浜市保土ヶ谷区今井町743	(045) 353-0591	全・総合ビジネス
(#) 平塚商業※6	平塚市中里50-1	(0463) 31-2385	全・総合ビジネス
(#) 小田原東	小田原市東町4-12-1	(0465) 34-2847	全・総合ビジネス
(#) 相 原	相模原市緑区橋本台4-2-1	(042) 772-0331	全・総合ビジネス
(#) 厚木商業	厚木市王子3-1-1	(046) 223-6669	全・総合ビジネス
(横浜市立) 横浜商業	横浜市南区南太田2-30-1	(045) 713-2323	全 { 商業・スポーツ マネジメント
(川崎市立) 幸	川崎市幸区戸手本町1-150	(044) 522-0125	全・ビジネス教養
(#) 川崎総合科学	川崎市幸区小向仲野町5-1	(044) 511-7336	定・商業

※6 (県立) 平塚商業高等学校(全日制)は、令和2(2020)年度に(県立)平塚農業高等学校(全日制)と再編・統合し、(県立)平塚農商高等学校になります。再編・統合後は、新しい高校の生徒として卒業します。

(6) 家庭・看護・福祉・理数・体育・美術・国際に関する学科(全日制的課程)(単位制を除く)

高等学校名	所在地	電話番号	学科
(川崎市立) 川 崎	川崎市川崎区中島3-3-1	(044) 244-4981	生活科学・福祉
(県立) 二俣川看護福祉	横浜市旭区中尾1-5-1	(045) 391-6165	看護・福祉
(#) 津 久 井	相模原市緑区三ヶ木272-1	(042) 784-1053	福祉
(川崎市立) 川崎総合科学	川崎市幸区小向仲野町5-1	(044) 511-7336	科学
(県立) 厚 木 北	厚木市下荻野886	(046) 241-8001	スポーツ科学
(川崎市立) 橋	川崎市中原区中丸子562	(044) 411-2640	スポーツ・国際
(県立) 白 山	横浜市緑区白山4-71-1	(045) 933-2231	美術
(#) 上 矢 部	横浜市戸塚区上矢部町3230	(045) 861-3500	美術
(横浜市立) 横浜商業	横浜市南区南太田2-30-1	(045) 713-2323	国際学

(7) 単位制

(全一全日制、定一定時制、通一通信制)

高等学校名	所在地	電話番号	課程等
(県立) 神奈川総合	横浜市神奈川区平川町19-2	(045) 491-2000	全・普通
(#) 横浜旭陵	横浜市旭区上白根町1161-7	(045) 953-1004	全・普通
(#) 横浜緑園	横浜市泉区岡津町2667	(045) 812-3371	全・普通
(#) 横浜修悠館	横浜市泉区和泉町2563	(045) 800-3711	通・普通
(#) 横浜桜陽	横浜市戸塚区汲沢町973	(045) 862-9343	全・普通
(#) 横浜清陵	横浜市南区清水ヶ丘41	(045) 242-1926	全・普通
(#) 横浜明朋	横浜市港南区港南台9-18-1	(045) 836-1680	{ 定(多部制) ・普通
(#) 横 浜 栄	横浜市栄区上郷町555	(045) 891-5581	全・普通
(#) 川 崎	川崎市川崎区渡田山王町22-6	(044) 344-5821	全・定・普通
(#) 大 師	川崎市川崎区四谷下町25-1	(044) 276-1201	全・普通
(#) 三 浦 初 声	三浦市初声町入江274-2	(046) 889-1771	全 { 普通 都市農業
(#) 湘 南	藤沢市鶴沼神明5-6-10	(0466) 26-8141	定・普通
(#) 藤 沢 清 流	藤沢市大鋸1450	(0466) 82-8111	全・普通
(#) 平塚湘風	平塚市田村3-13-1	(0463) 55-1532	全・普通
(#) 小 田 原	小田原市城山3-26-1	(0465) 23-1201	全・定・普通
(#) 厚木清南	厚木市岡田1-12-1	(046) 228-2015	{ 全・定・通 普通
(#) 相模向陽館	座間市ひばりが丘3-58-1	(046) 298-3455	{ 定・普通 (多部制)
(#) 相模原青陵※7	相模原市南区新磯野468	(042) 747-0531	全・普通

※7 (県立) 相模原青陵高等学校は、平成30(2018)年度入学者選抜から募集を停止しました。

(7) 単位制 一続き一

(全一全日制、定一定時制、通一通信制)

高等学校名	所在地	電話番号	課程等
(県立) 弥 栄 ※8	相模原市中央区弥栄3-1-8	(042) 758-4695	全 { 普通 科学 音楽 美術
(横浜立) 東	横浜市鶴見区馬場3-5-1	(045) 571-0851	全・普通
(#) 戸 塚	横浜市戸塚区汲沢2-27-1	(045) 871-0301	全 { 普通 音楽コース
(県立) 鶴見総合	横浜市鶴見区平安町2-28-8	(045) 506-1234	全・総合
(#) 金沢総合	横浜市金沢区富岡東6-34-1	(045) 773-6771	全・総合
(#) 麻生総合	川崎市麻生区片平1778	(044) 987-1750	全・総合
(#) 藤沢総合	藤沢市長後1909	(0466) 45-5200	全・総合
(#) 秦野総合	秦野市南が丘1-4-1	(0463) 82-1400	全・定・総合
(#) 座間総合	座間市栗原2487	(046) 253-2920	全・総合
(#) 相模原総合	相模原市緑区大島1226	(042) 761-5055	全・総合
(#) 磯子工業	横浜市磯子区森5-24-1	(045) 761-1451	定・総合
(#) 向の岡工業	川崎市多摩区堰1-28-1	(044) 833-9561	定・総合
(#) 平塚商業 ※9	平塚市中里50-1	(0463) 31-1658	定・総合
(横浜立) みなと総合	横浜市中区山下町231	(045) 662-3710	全・総合
(#) 横浜総合	横浜市南区大岡2-29-1	(045) 744-1900	{ 定 (三部制) ・総合
(横浜立) 横須賀総合	横須賀市久里浜6-1-1	(046) 833-4111	全・定・総合
(県立) 吉 田 島	足柄上郡開成町吉田島281	(0465) 82-0151	全 { 都市農業 食品加工 環境緑地 生活科学
(#) 海洋科学	横須賀市長坂1-2-1	(046) 856-3128	全・水産
(#) 横須賀明光 ※10	横須賀市佐原4-20-1	(046) 834-5671	全・福祉
(横浜立) 横浜アインスロンティフ	横浜市鶴見区小野町6	(045) 511-3654	全・理数
(県立) 横浜国際	横浜市南区六ッ川1-731	(045) 721-1434	全・国際
(#) 神奈川総合産業	相模原市南区文京1-11-1	(042) 742-6111	{ 全・総合産業 定・総合

※8 (県立) 弥栄高等学校は、令和2(2020)年度に(県立)相模原青陵高等学校と再編・統合し、(県立)相模原弥栄高等学校になります。再編・統合後は、新しい高校の生徒として卒業します。

※9 (県立) 平塚商業高等学校(定時制)は、令和2(2020)年度に(県立)高浜高等学校に移行します。移行後は、(県立)高浜高等学校の生徒として卒業します。

※10 (県立) 横須賀明光高等学校は、令和2(2020)年度に(県立)大楠高等学校と再編・統合し、(県立)横須賀南高等学校になります。再編・統合後は、新しい高校の生徒として卒業します。

(8) 海外帰国生徒特別募集実施校

(全日制の課程)

高等学校名	所在地	電話番号	学 科
(県立) 神奈川総合	横浜市神奈川区平川町19-2	(045) 491-2000	単位制 普通
(#) 横浜国際	横浜市南区六ッ川1-731	(045) 721-1434	単位制 国際
(#) 新 城	川崎市中原区下新城1-14-1	(044) 766-7457	普通
(#) 西 湘	小田原市酒匂1-3-1	(0465) 47-2171	普通
(#) 鶴 嶺	茅ヶ崎市円蔵1-16-1	(0467) 52-6601	普通
(#) 弥 栄	相模原市中央区弥栄3-1-8	(042) 758-4695	単位制 普通
(#) 伊 志 田	伊勢原市石田1356-1	(0463) 93-5613	普通
(横浜立) 東	横浜市鶴見区馬場3-5-1	(045) 571-0851	単位制 普通

(9) 在県外国人等特別募集実施校

(全一全日制、定一定時制)

高等学校名	所在地	電話番号	課程・学科
(県) 鶴見総合	横浜市鶴見区平安町2-28-8	(045)506-1234	全・単位制総合
(〃) 横浜清陵	横浜市南区清水ヶ丘41	(045)242-1926	全・単位制普通
(〃) 川崎	川崎市川崎区渡田山王町22-6	(044)344-5821	全・単位制普通
(〃) 大井	川崎市川崎区四谷下町25-1	(044)276-1201	全・単位制普通
(〃) 弥栄	相模原市中央区弥栄3-1-8	(042)758-4695	全・単位制普通
(〃) 橋本	相模原市緑区橋本8-8-1	(042)774-0611	全・普通
(〃) 大和南	大和市上和田2557	(046)269-5050	全・普通
(〃) 伊勢原	伊勢原市田中1008-3	(0463)95-2578	全・普通
(〃) 座間総合	座間市栗原2487	(046)253-2920	全・単位制総合
(〃) 愛川	愛甲郡愛川町三増822-1	(046)286-2871	全・普通
(県) 相模向陽館	座間市ひばりが丘3-58-1	(046)298-3455	定・単位制普通
(県) みなと総合	横浜市中区山下町231	(045)662-3710	全・単位制総合
(〃) 横浜商業	横浜市南区南太田2-30-1	(045)713-2323	全・国際学

※ インクルーシブ教育実践推進校特別募集実施校につきましては、「志願のてびきー全日制の課程・別科」の18ページを参照してください。

VI 教育相談の窓口一覧

相談窓口	相談方法
県立総合教育センター (教育相談センター) 藤沢市亀井野 2547-4 (0466)81-8521 (代表)	【電話相談】 ・総合教育相談、不登校ほっとライン (0466)81-0185 (直通) 月～金 午前8時30分～午後9時 土・日・祝休日 午前8時30分～午後5時15分 (12/29～1/3を除きます。) ・発達教育相談 (0466)84-2210 (直通) 月～金 午前8時30分～午後9時 土・日・祝休日 午前8時30分～午後5時15分 (12/29～1/3を除きます。) ・24時間子どもSOSダイヤル (0120)0-78310 (全国共通) 又は (0466)81-8111 (直通) 24時間365日受付 【来所相談】 (0466)81-8521 (代表) 月～金 午前8時30分～午後5時15分 (祝休日および12/29～1/3を除きます。) ・土曜不登校相談 第4土曜日(9月、3月を除きます。) 午前8時30分～午後5時15分 【Eメール】 返信に数日かかる場合があります。 ・お問合せフォーム https://kjd.edu-ctr.pref.kanagawa.jp/ssl/soudan/ ・メールアドレス soudan@edu-ctr.pref.kanagawa.jp
転編入学情報センター 横浜市中区日本大通 33 (住宅供給公社ビル6階) (045)210-8235 (直通)	【電話・来所相談】 月～金 午前8時30分～午後5時15分 (土・日・休日および12/29～1/3を除きます。) 【Eメール】 返信に数日かかる場合があります。 ・お問合せフォーム ホームページURL (※ページ内に相談フォームがあります) http://www.pref.kanagawa.jp/docs/dc4/nyusen/tenpen/tenpenjouhou.html

Ⅶ 各様式の記入例

1 神奈川県公立高等学校入学志願資格承認申請書（第15号様式）記入例

第15号様式

受付番号
※

神奈川県公立高等学校入学志願資格承認申請書（個人申請用）

神奈川県教育委員会教育長

志願資格承認申請をする日を
記入してください。

令和元年12月12日

志願者氏名 県外 太郎
保護者氏名 県外 一郎

下記事情により、全日制、定時制及び通信制の課程の志願資格承認申請をします。

1 志願者及び保護者の氏名・現住所（転居予定先）等

		氏名	現住所	転居予定住所（転居予定期日）
志願者		カガナ ケンガイ タロウ 県外 太郎	××県△△市□□	横浜市中央区日本大通 〇〇 (令和2年4月1日)
		生年月日 昭和(平成)16年 5月15日		
保護者	父	県外 一郎	志願者に同じ	志願者に同じ (令和 年 月 日)
	母	県外 花子	//	// (令和 年 月 日)
				(令和 年 月 日)

志願者が記入

2 在学（出身）中学校名 私 立 〇〇学園 中学校

3 申請に関する事由（具体的に記入すること。欄が足りない場合は別紙添付可。）

令和2年4月1日までに神奈川県内に一家で転居するため。

[中学校長意見及び副申欄]

本校在学（又は出身）の生徒 **県外 太郎** の神奈川県公立高等学校への入学志願に際し、上記申請内容に間違いがないことを証明します。また、当該生徒が神奈川県以外の公立高等学校に志願しないことを証明します。（特別な事情がある場合には以下に具体的に記入すること。欄が足りない場合は別紙添付可。）

この欄は中学校で記入・押印してもらいます。

令和元年12月11日

中学校名 〇〇学園中学校
校長氏名 学園 二郎
所在地 ××県△△市◇◇
電話番号 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇



中学校が記入

※[神奈川県教育委員会使用欄]

- （提示及び添付書類）
- | | |
|--------------------------|--------------|
| 1 住所が確認できる書類又は転居に関する証明書等 | 2 念書（第19号様式） |
| 3 同居同意書（第20号様式） | 4 その他（ ） |

※印の欄は、申請者は記入しないこと。

学区確認受付番号 ※

市立高等学校（全日制の課程）に係る学区確認申請書

（横浜）
（川崎）

市教育委員会教育長

令和 2 年 1 月 8 日

学区確認申請書の提出日
を記入してください。

志願者氏名

神奈川 太郎

保護者氏名

神奈川 一郎

下記事情により、〔横浜（川崎）市立高等学校（全日制の課程）のうち、当該の市内全域を学区とする高等学校の学科への志願について、学区確認申請をします。〕

1 志願者及び保護者の氏名・現住所（転居予定住所）等

志願者が記入

志願者	氏名	神奈川 太郎	現住所	神奈川県小田原市××	
	生年月日	昭和 平成 17年 3月 8日	転居予定住所（予定期日 令和 2 年 3 月 22 日）	神奈川県川崎市川崎区△△	
保護者	父	氏名	神奈川 一郎	現住所	志願者に同じ
		氏名	神奈川 花子	現住所	志願者に同じ
保護者	母	氏名	神奈川 花子	現住所	志願者に同じ
		氏名		現住所	志願者に同じ

2 在学（出身）中学校名 私 立 ●● 中学校

3 申請事由

（事由番号）

10

9-10 ページの事由番号から該当するものを記入してください。

（中学校長の記入欄）

本校在学（又は出身）の志願者 神奈川 太郎 の、〔横浜（川崎）市立高等学校（全日制の課程）のうち当該の市内全域を学区とする高等学校の学科への志願について、上記の記載事項に相違ありません。〕

令和 2 年 1 月 7 日

中学校名 私立●●中学校
校長氏名 学園 百子
所在地 神奈川県□□市◇◇
電話番号 045-000-0000

校●私
長●申
立●印
学●

中学校が記入

※ 提示又は添付書類 1. 住所が確認できる書類又は転居に関する証明書等 2. 念書（第23号様式）
3. 同居同意書（第24号様式） 4. その他（ ）

（注1）この申請書は、横浜市立高等学校（全日制の課程）のうち横浜市全域を学区とする高等学校又は川崎市立高等学校（全日制の課程）のうち川崎市内全域を学区とする高等学校の学科へ志願しようとする者で、かつ申請事由に該当する場合に提出すること。

（注2）〔 〕内については、該当するいずれかの字句を○で囲むこと。

（注3）3の申請事由については、「令和2年度神奈川県公立高等学校の入学者の募集及び選抜実施要領」に記載されている別表（神奈川県公立高等学校の志願資格承認申請及び横浜市立・川崎市立高等学校に係る学区確認申請の事務手続きについて）における事由番号を〔 〕の中に記入すること。ただし、事由番号が4又は14の場合は、右の（ ）内にもその事由を簡潔に記入すること。

（注4）※印の欄は、申請者が記入しないこと。

入学願書(全日制の課程)

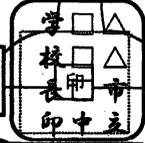
共通選抜・連携募集・二次募集

志願先	神奈川県立 横須賀工業	高等学校長	受検番	出願するものに○をつけます。
志願変更先				

日付は、原則として出願日としますが、募集期間内であればいずれの日付でも可とします。

貴校に入学を志願します。
令和2年 1月28日

志願資格承認申請書(第15号様式)を提出して承認を受けた人はここに○をつけます。



フリガナ	ミウラ ジロウ	志願資格承認申請書の区分	15号
氏名	三浦 次郎	学区確認申請書の区分	横浜市立川崎市立
生年月日	昭和・平成 16年 6月 15日	神奈川県立 横須賀工業	高等学校
現住所	〒 222-XXXX 〇〇県△△市□□ (転居予定先) 神奈川県横浜市中区日本大通XX	機械科	コース
連絡先TEL	(046) △△△ - □□□□	横浜市立及び川崎市立の通学区区域規則上の区分	受検教科
氏名	三浦 一郎	学区内	英 国 数 理 社
現住所	志願者に同じ	第3条 第4条 第5条 二次募集	化学科
中学校長の証明・同意・確認	昭和・平成(令和)2年3月卒業・卒業見込 □各通学区区域規則第4条の規定による志願の同意(市内を学区とする横浜市立、川崎市立の高等学校に学区外志願することに同意した) □募集及び選抜実施要領§1のIの規定に係る確認(本人及び保護者が県内に住所を有することを確認した)(記入上の注意11に該当する志願者のみ) □各学区確認実施要領(3の(1)のイ)による学区確認(これらの規定に基づく学区確認を行った) □募集及び選抜実施要領§2のIの規定に係る確認(二次募集の志願資格を有していることを確認した)	第2希望(記入上の注意4、5又は6で指定された高等学校のみ記入可)	高等学校
	中学校名 △△市立□□□□中学校	学区外	コース
	校長氏名 银杏 太郎	第3条 第4条 第5条 二次募集	受検教科
	所在地 △△市□□-□□	第2希望(記入上の注意4、5又は6で指定された高等学校のみ記入可)	英 国 数 理 社
	電話番号 〇〇〇-〇〇〇-XXXX		

転居予定先の住所を記入してください。

学区確認申請(第22号様式の1)を提出して学区内扱いの通知を受けた人はここに○をつけます。

この欄は中学校で記入・押印してもらいます。



記入上の注意

- 1 志願者は大枠の中のみ記入する。ただし、※印欄には記入しないこと。
- 2 第15号様式により県教育長の志願資格承認申請を行った志願者は、承認書を添付するとともに志願資格承認申請の区分欄の15号を○で囲むこと。
- 3 第22号様式により学区確認申請を行った志願者は、確認結果通知書を添付するとともに学区確認申請書の区分欄の横浜市立又は川崎市立を○で囲むこと。
- 4 申請を必要としない志願者については、記入を要しない。
- 5 学力検査については、学校により受検を要する教科が異なる場合があるので、募集案内等で確認して受検する教科を○で囲むこと。
- 6 農業(工業、商業、水産)に関する専門学科を置く高等学校に志願する場合、同じ学校の同じ課程の他の農業(工業、商業、水産)に関する学科又はコースを第2希望として記入できる。
- 7 横浜市立戸塚高等学校に志願する場合、同じ学校の同じ課程の他のコースを第2希望として記入できる。
- 8 県立横浜国際高等学校に志願する場合、同じ学校の同じ学科の他のコース等を第2希望として記入できる。
- 9 令和2年4月1日現在で満20歳以上の志願者は、保護者欄への記入を要しない。
- 10 中学校長は、貼付された写真に職印又はシールプレスで割印する。なお、シールプレスの場合は位置の指定はない。
- 11 中学校長の証明・同意・確認の欄の昭和・平成・令和及び卒業・卒業見込については、該当する字句を○で囲むこと。
- 12 各通学区区域規則第4条による学区外への志願に同意する場合は、1番目の□にV印を記入すること。
- 13 保護者の一方と県内に居住する志願者であって、保護者の他の一方が勤務の関係等によって県外に居住している志願者のうち、保護者の氏名及び現住所の欄に、県外に居住する保護者の氏名及び現住所を記入する志願者は、2番目の□にV印を記入すること。
- 14 各学区確認実施要領における3の(1)のイの規定による学区確認の申請を省略された志願者は、3番目の□にV印を記入すること。

受検票(全)

志願先	神奈川県立 横須賀工業	高等学校
志願変更先		

専門コース設置校の一般コースの志願者は「一般」と記入してください。

氏名	三浦 次郎
志願先	神奈川県立横須賀工業 高等学校
志願変更先	機械科
受検教科	英語 国語 数学 理科 社会
*第2希望	化学科

(備考) ※印欄には記入しないこと。注意4、5又は6で指定のみ記入可。

受検する教科を○で囲んでください。

共通選抜 (日時が入ります)
学力検査 2月14日(金) 8時50分

横浜市立戸塚高等学校及び農業(工業・商業・水産)に関する学科の志願者が第2希望として志願する場合のみ記入してください。第2希望として他の学科またはコースを希望しない場合は右がりの斜線を引いてください。第2希望の設定のない学校や学科を志願する場合は、空欄のままにしてください。

(3) 昼食あります。

印	印
---	---

入学願書(全日制の課程)

共通選抜・連携募集・二次募集

受検票(全)

志願先	神奈川県立 横浜国際 高等学校長	受検番	「共通選抜」を○で囲んでください。
志願変更先	立 高等学校長	受検番号	※

志願先	※
受検番号	※

貴校に入学を志願します
令和2年 1月28日

日付は、原則として出願日としますが、募集期間内であればいずれの日付でも可とします。

・単位制国際科(国際科バカロレアコースを除く。)の志願者は、「コース」を一本線で消してください。
・単位制国際科国際バカロレアコースの志願者は「国際バカロレア」と記入してください。

フリガナ	ヨコハマ ヨウコ
氏名	横浜 洋子
生年月日	昭和・平成 16年 7月 12日
現住所	〒231-XXXX 横浜市中区△△ (転居予定先)
連絡先TEL	(045) △△△ - □□□□
氏名	横浜 一
現住所	志願者と同じ

志願資格承認申請書の区分	15号
学区確認申請書の区分	横浜市立川崎市立
志願先	神奈川県立 横浜国際 高等学校 単位制国際科
横浜市立及び川崎市立の通学区区域規則上の区分	受検教科
学区内 学区外	英 国 数 理 社
第3条 第4条 第5条 二次募集	国際バカロレア
第2希望(記入上の注意4、5又は6で指定された高等学校のみ記入可)	立 高等学校
科	コース
横浜市立及び川崎市立の通学区区域規則上の区分	受検教科
学区内 学区外	英 国 数 理 社
第3条 第4条 第5条 二次募集	
第2希望(記入上の注意4、5又は6で指定された高等学校のみ記入可)	

名	横浜 洋子
志願先	神奈川県立 横浜国際 高等学校 単位制国際科
受検教科	英語 国語 数学 理科 社会
*第2希望	国際バカロレア
志願変更先	立 高等学校
受検教科	英語 国語 数学 理科 社会
*第2希望	

(備考) ※印欄には記入しないこと。
注意4、5又は6で指定のみ記入可。

受検する教科を○で囲んでください。

・第2希望を希望する場合は、以下のように記入してください。
単位制国際科(国際バカロレアコースを除く。)を希望する場合は「国際科」、
単位制国際科国際バカロレアコースを希望する場合は「国際バカロレア」。
・第2希望を希望しない場合は、右下がりの斜線を引いてください。

中学校長の証明・同意・確認

昭和・平成・令和 2年 3月 卒業・卒業見込

各通学区区域規則第4条の規定による志願の同意(市内を学区とする横浜市立、川崎市立の高等学校に学区外志願することに同意した)

募集及び選抜実施要領§1のIの規定に係る確認(本人及び保護者が県内に住所を有することを確認した)
(記入上の注意11に該当する志願者のみ)

各学区確認実施要領(3の(1)のイ)による学区確認(これらの規定に基づく学区確認を行った)

募集及び選抜実施要領§2のIの規定に係る確認(二次募集の志願資格を有していることを確認した)

中学校名 横浜市立つばき中学校

校長氏名 浜 次郎

所在地 横浜市西区〇〇

電話番号 045-〇〇〇-XXXX



連携募集 (日時が入ります。)

[]

までに検査会場に集合すること。

2 検査会場
志願(変更)先の高等学校

3 持参するもの
(1) 受検票 (2) 筆記用具 (3) 昼食
(4) 上ばき(必要としない学校もあります。)

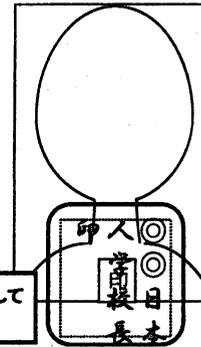
高等学校受付確認印	
志願先	志願変更先
印	印

- 記入上の注意
- 志願者は太枠の中のみ記入する。ただし、※印欄には記入しないこと。
 - 第15号様式により県教育長の志願資格承認申請を行った志願者は、承認書を添付するとともに志願資格承認申請の区分欄の15号を○で囲むこと。
第22号様式の1により学区確認申請を行った志願者は、確認結果通知書を添付するとともに学区確認申請書の区分欄の横浜市立又は川崎市立を○で囲むこと。
申請を必要としない志願者については、記入を要しない。
 - 学力検査については、学校により受検を要する教科が異なる場合があるので、募集案内等で確認して受検する教科を○で囲むこと。
 - 農業(工業、商業、水産)に関する専門学科を置く高等学校に志願する場合、同じ学校の同じ課程の他の農業(工業、商業、水産)に関する学科又はコースを第2希望として記入できる。
 - 横浜市立戸塚高等学校に志願する場合、同じ学校の同じ課程の他のコースを第2希望として記入できる。
 - 県立横浜国際高等学校に志願する場合、同じ学校の同じ学科の他のコース等を第2希望として記入できる。
 - 令和2年4月1日現在で満20歳以上の志願者は、保護者欄への記入を要しない。
 - 中学校長は、貼付された写真に職印又はシールプレスで割印する。なお、シールプレスの場合は位置の指定はない。
 - 中学校長の証明・同意・確認の欄の昭和・平成・令和及び卒業・卒業見込については、該当する字句を○で囲むこと。
 - 各通学区区域規則第4条による学区外への志願は、1番目の□にV印を記入すること。
 - 保護者の一方と県内に居住する志願者であって、保護者の他の一方が勤務の関係等によって県外に居住している志願者のうち、保護者の氏名及び現住所の欄に、県外に居住する保護者の氏名及び現住所を記入する志願者は、2番目の□にV印を記入すること。
 - 各学区確認実施要領における3の(1)のイの規定による学区確認の申請を省略された志願者は、3番目の□にV印を記入すること。

入学願書(県立横浜国際高等学校)

入学願書(海外帰国生徒特別募集)

志願先	神奈川県立	西湘	高等学校長	受検番号	※
志願変更先	立		高等学校長	受検番号	※



貴校に入学を志願します。

日付は、原則として出願日としますが、募集期間内であればいずれの日付でも可とします

志願資格承認申請書(第15号様式)を提出して承認を受けた人はここに○をつけます。

令和2年 1月 28日

志願者	フリガナ	オオヤマ ヒデコ		志願資格承認申請書の区分	15号
	氏名	大山 英子		志願先	神奈川県立 西湘 高等学校 普通科 コース
	生年月日	昭和・平成	16年 12月 24日	第2希望(県立横浜国際高等学校のみ記入可)	科 コース
保護者	現住所	◎◎国△△市◎◎ (転居予定先) 神奈川県横浜市中区日本大通□□		志願変更先	立 高等学校 科 コース
	連絡先TEL	(0465) △△ - □□□□		第2希望(県立横浜国際高等学校のみ記入可)	科 コース
	氏名	大山 静		転居予定先の住所を記入してください。	
中学校長の証明・確認	現住所	志願者と同じ		中学校名	◎◎日本人学校
	氏名	大山 静		校長氏名	外国 日出男
	昭和・平成	令和	2年 3月 卒業・卒業見込	所在地	◎◎国△△市□□
<input type="checkbox"/> 募集及び選抜実施要領 §1 の I の規定に係る確認(本人及び保護者が県内に住所を有することを確認した) (記入上の注意7に該当する志願者のみ)		<input type="checkbox"/> 海外帰国生徒特別募集の志願資格の確認を行った		電話番号	◎◎-◎◎-××××

21

記入上の注意

- 1 志願者は太枠の中のみ記入する。ただし、※印欄には記入しないこと。
- 2 第15号様式により県教育長の志願資格承認申請を行った志願者は、承認書を添付するとともに志願資格承認申請書の区分欄の15号を○で囲むこと。申請を必要としない志願者については、記入を要しない。
- 3 令和2年4月1日現在で満20歳以上の志願者は、保護者欄への記入を要しない。
- 4 中学校長は、貼付された写真に職印またはシールプレスで割印する。なお、シールプレスの場合は位置の指定はない。
- 5 県立横浜国際高等学校に志願する場合、同じ学校の同じ学科の他のコース等を第2希望として記入できる。
- 6 中学校長の証明・確認の欄の昭和・平成・令和及び卒業・卒業見込については、該当する字句を○で囲むこと。
- 7 保護者の一方と県内に居住する志願者であって、保護者の他の一方が勤務の関係等によって県外に居住している志願者のうち、保護者の氏名及び現住所の欄に、県外に居住する保護者の氏名及び現住所を記入する志願者は、□にV印を記入すること。
- 8 志願先の高等学校長は、海外帰国生徒特別募集の志願資格を有する志願者には、志願先高等学校長の志願資格確認欄の□にV印を記入すること。

受検票(海外)

志願先	※
志願変更先	※

フリガナ	オオヤマ ヒデコ	
氏名	大山 英子	
志願先	神奈川県立 西湘 高等学校 普通科 コース	
志願変更先	立 高等学校 科 コース	

(備考) ※印欄には記入しないこと。

*印欄には県立横浜国際高等学校のみ記入可。

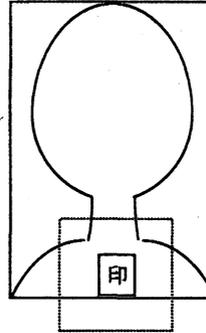
(受検上の注意)

- 1 検査の日時
学力検査・作文(日時が入ります。)
[]
までに検査会場に集合すること。
面接 学力検査・作文終了後
特色検査 []
- 2 検査会場
志願(変更)先の高等学校
- 3 持参するもの
(1) 受検票 (2) 筆記用具 (3) 昼食
(4) 上ばき(必要としない学校もあります。)

高等学校受付確認印	
志願先	志願変更先
印	印

入学願書(海外帰国生徒特別募集)

入学願書(在県外国人等特別募集)



志願先	神奈川県立 横浜清陵 高等学校長	受験番号	※
志願変更先	立 高等学校長	受験番号	※

貴校に入学を志願します。

日付は、原則として出願日としますが、募集期間内であればいずれの日付でも可とします。

西暦で記入しても構いません。

令和2年 1月28日

フリガナ	ワン ウエイ	国籍	中華人民共和国	入国年月日	2018年9月20日	日本国籍取得年月日	
氏名	王偉	志願資格承認申請書の区分	15号	18号			
生年月日	昭和・平成2004年 5月 2日	作文による受験(記入上の注意の4に該当する受験者)	作文				
現住所	〒212-XXXX (転居予定先) 川崎市幸区△△	志願先	神奈川県立 横浜清陵 高等学校 単位制普通科	部			
連絡先TEL	(045) △△△- □□□□	第2希望(県立相模向陽館高等学校のみ記入可)		部			
勤務(予定)先 名 称 所在地	必ず、姓(ファミリーネーム)名(ファーストネーム)の順で記入してください。	志願変更先	志願資格承認申請書(第15号様式)を提出して承認を受けた人はここに○をつけます。	校			
氏名	浩 宇	第2希望(県立相模向陽館高等学校のみ記入可)		部			
現住所	志願者と同じ	中学校名					
中学校長の証明・確認	昭和・平成(令和)2年 3月 卒業・卒業見込 □募集及び選抜実施要領 §1のIの規定に係る確認(本人及び保護者が県内に住所を有することを確認した) (記入上の注意9に該当する志願者のみ)	校長氏名	海外の現地校を卒業した人は、この欄の記入は必要ありません。				
		所在地					
		電話番号					

※ 志願先高等学校長の志願資格確認欄 □在県外国人等特別募集の志願資格の確認を行った

記入上の注意

- 志願者は太枠の中のみ記入する。ただし、※印欄には記入しないこと。
- 日本国籍を取得して3年以内の者は、入国年月日と日本国籍を取得した年月日をそれぞれ該当する欄に記入すること。
- 第15号様式により県教育長の志願資格承認申請を行った志願者は、承認書を添付するとともに志願資格承認申請書の区分欄の15号を○で囲むこと。第18号様式により志願先の高等学校で県教育長の志願資格承認申請を行った志願者は、志願資格承認申請書の区分欄の18号を○で囲むこと。申請を必要としない志願者については、記入を要しない。
- 令和2年4月1日現在で満20歳以上の定時制の課程の志願者で、学力検査に代えて作文による受験を希望する場合は、作文による受験欄の作文の文字を○で囲むこと。
- 令和2年4月1日現在で満20歳以上の志願者は、保護者欄への記入を要しない。
- 県立相模向陽館高等学校に志願する場合、同じ学校の他の部を第2希望として記入できる。
- 中学校長は、貼付された写真に職印またはシールプレスで割印する。なお、シールプレスの場合は位置の指定はない。
- 中学校長の証明・確認の欄の昭和・平成・令和及び卒業・卒業見込については、該当する字句を○で囲むこと。
- 保護者の一方と県内に居住する志願者であって、保護者の他の一方が勤務の関係等によって県外に居住している志願者のうち、保護者の氏名及び現住所の欄に、県外に居住する保護者の氏名及び現住所を記入する志願者は、□にV印を記入すること。
- 志願先の高等学校長は、在県外国人等特別募集の志願資格を有する志願者には、志願先高等学校長の志願資格確認欄の□にV印を記入すること。

受験票(在県)

志願先	※
志願変更先	※

フリガナ	ワン ウエイ
氏名	王偉
志願先	神奈川県立 横浜清陵 高等学校 単位制普通科
*第2希望	部
志願変更先	立 高等学校
科	部
*第2希望	部

(備考) ※印欄には記入しないこと。
*印欄には県立相模向陽館高等学校のみ記入可。

(受験上の注意)

- 検査の日時
学力検査
2月14日(金) 8時50分
までに検査会場に集合すること。
面接 学力検査終了後
- 検査会場
志願(変更)先の高等学校
- 持参するもの
(1) 受験票 (2) 筆記用具 (3) 昼食
(4) 上ばき(必要としない学校もあります。)

高等学校受付確認印	
志願先	志願変更先
印	印

入学願書(在県外国人等特別募集)

4 志願変更届（第13号様式）記入例

第13号様式

志 願 変 更 届

提出する日を記入してください。

令和 2 年 2 月 4 日

神奈川県立 ○ ○ 高等学校長

受検番号 □ □ □ □ □ □ □ □ 番

フリガナ ^{カナガワ} 神奈川 ^{ハナコ} 花子
 志願者氏名

保護者氏名 神奈川 太郎



次のとおり志願変更をしますので、入学願書等必要書類を返還してください。

志 願 先	神奈川県立 ○ ○ 高等学校 △ △ の課程 × × 科 海外・在県・インクルーシブ・中退 (第2希望 科、コース(部))	コース (部)
志 願 変 更 先	神奈川県立 ◎ ◎ 高等学校 △ △ の課程 × × 科 海外・在県・インクルーシブ・中退 (第2希望 科、コース(部))	コース (部)

横浜市立及び川崎市立の高等学校における志願変更先の高等学校の各通学区域規則上の区分

学区内	学 区 外		
第3条	第4条	第5条	二次募集

令和 2 年 2 月 3 日

中学校長の確認

中学校名 横浜市立つばき中学校

校長氏名 浜 次郎



受 領 書

- 1 入学願書
- 2 受検票
- 3 その他の書類
 - (1) 面接シート
 - (2)
 - (3)

上記の書類を受領しました。

令和 2 年 2 月 4 日

中学校で記入・押印してもらってください。中学校が遠距離の場合には、中学校と事前に相談のうえ、事前に記入・押印してもらってもかまいません。

当日、印鑑をお持ちください。

受領者氏名 神奈川 花子



- (注) 1 志願変更先の高等学校の各通学区域規則上の区分は該当する項目を○印で囲むこと。
 2 海外帰国生徒特別募集、在県外国人等特別募集、インクルーシブ教育実践推進校特別募集及び中途退学者募集に係る志願変更の場合は、該当する海外・在県・インクルーシブ・中退の字句を○印で囲むこと。
 3 中途退学者募集の場合、中学校長、中学校名をそれぞれ高等学校長、高等学校名と読み替えること。
 4 第2希望とは、神奈川県公立高等学校の入学者の募集及び選抜実施要領 § 1 のⅢの1の(1)に規定する第2希望をいう。

5 海外からの移住者等を保護者とする志願者の受検方法等申請書(第5号様式)記入例

第5号様式

海外からの移住者等を保護者とする志願者の受検方法等申請書

提出する日を記入してください。

令和 2年 1月 17日

神奈川県教育委員会教育長

かなら せい めい
必ず、姓(ファミリーネーム)名(ファーストネーム)
じゅん きにゅう
の順で記入してください。

志願者氏名 ^フリ^リガ^ナ スチュワート クリス
Stewart Chris

保護者氏名 Stewart George

住 所 神奈川県横浜市中区日本大通〇

神奈川県公立高等学校の入学者の募集及び選抜実施要領 § 1 の III の 2 の (5) に規定する志願者の受検方法等について次のとおり申請します。

1 選抜の区分等 (いずれか一つを○で囲んでください。)

共通選抜 連携募集 インクルーシブ教育実践推進校特別募集 中途退学者募集 定通分割選抜 二次募集

2 志願を希望する高等学校

神奈川県立 △△ 高等学校 全日制 の課程 総合学科
コース(部)

3 帰国(入国)後の状況(具体的に記入してください。)

帰国(入国)年月日	平成 令和 元年 9月 1日	帰国(入国)前の国名	USA
帰国(入国)後の編入学校名			
帰国(入国)後の編入学年			

※ 帰国(入国)年月日欄の平成・令和の字句は、該当するものを○で囲むこと。

4 面接及び学力検査等に関する方法(簡条書で記入してください。)

申請する内容を書いてください。

5 申請の理由(具体的に記入してください。)

志願者本人の状況など、その理由をここに書いてください。

6 中学校長の所見

上記の受検上の方法等が必要であると考えます。

(申請内容について追加することがあれば記入してください。)

海外の現地中学校を卒業した人の場合は、この欄には記入しません。

令和 年 月 日

中学校名

電話番号

校長氏名

印

※ この申請書は志願する選抜ごとに提出すること。

メモ

様式集

入学願書及び調査書以外の様式は、この様式集のコピーまたは神奈川県教育委員会のホームページからダウンロードしたものをお使いください。

【様式集のダウンロードの方法】

神奈川県教育委員会のホームページ

- 入学者選抜「公立高校入学者選抜」を **クリック**
「神奈川県公立高等学校入学者選抜について」を **クリック**
 > 「令和2年度入学者選抜の情報」 > 「実施要領」を **クリック**
- 「様式等（1）（第5号様式から第11号様式）」を **クリック** してください。
http://www.pref.kanagawa.jp/docs/dc4/nyusen/nyusen/r2/documents/01_r2youshiki05-11.pdf
- 「様式等（2）（第12号様式から第21号様式）」を **クリック** してください。
http://www.pref.kanagawa.jp/docs/dc4/nyusen/nyusen/r2/documents/02_r2youshiki12-21.pdf
- 「様式等（3）（第22号様式から第27号様式）」を **クリック** してください。
http://www.pref.kanagawa.jp/docs/dc4/nyusen/nyusen/r2/documents/04_r2youshiki22-27.pdf
- 「様式等（4）（第28号様式）」を **クリック** してください。
http://www.pref.kanagawa.jp/docs/dc4/nyusen/nyusen/r2/documents/03_r2youshiki28.pdf

- (1) 神奈川県公立高等学校入学志願資格承認申請書（第15号様式）
- (2) 念書（第19号様式【県志願資格用】）
同居同意書（第20号様式【県志願資格用】）
- (3) 志願変更願（第13号様式）
- (4) 志願取消届（第12号様式）
- (5) 入学辞退届（第21号様式）
- (6) 市立高等学校（全日制の課程）に係る学区確認申請書
（第22号様式の1）
- (7) 市立高等学校（定時制の課程）に係る学区確認申請書
（第22号様式の2）
- (8) 念書（第23号様式【市学区確認用】）
同居同意書（第24号様式【市学区確認用】）
- (9) 追検査受検願（第28号様式）

受付番号
※

神奈川県公立高等学校入学志願資格承認申請書（個人申請用）

神奈川県教育委員会教育長

令和 年 月 日

志願者氏名 _____

保護者氏名 _____

下記事情により、全日制、定時制及び通信制の課程の志願資格承認申請をします。

1 志願者及び保護者の氏名・現住所（転居予定先）等

		氏名	現住所	転居予定住所（転居予定期日）
志願者		フリガナ		
		生年月日 昭和・平成 年 月 日		
保護者	父			(令和 年 月 日)
	母			(令和 年 月 日)
				(令和 年 月 日)

2 在学（出身）中学校名 _____ 立 _____ 中学校

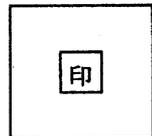
3 申請に関する事由（具体的に記入すること。欄が足りない場合は別紙添付可。）

[中学校長意見及び副申欄]

本校在学（又は出身）の生徒 _____ の神奈川県公立高等学校への入学志願に際し、上記申請内容に間違いがないことを証明します。また、当該生徒が神奈川県以外の公立高等学校に志願しないことを証明します。（特別な事情がある場合には以下に具体的に記入すること。欄が足りない場合は別紙添付可。）

令和 年 月 日

中学校名
校長氏名
所在地
電話番号



※[神奈川県教育委員会使用欄]

- （提示及び添付書類）
- 1 住所が確認できる書類又は転居に関する証明書等
 - 2 念書（第 19 号様式）
 - 3 同居同意書（第 20 号様式）
 - 4 その他（ _____ ）

※印の欄は、申請者は記入しないこと。

第19号様式【県志願資格用】

念 書

令和 年 月 日

神奈川県教育委員会教育長

フリガナ
志願者氏名 _____

保護者氏名 _____ (印)

令和 年 月 日までに次の場所に転居します。

なお、転居を取りやめる場合は、神奈川県公立高等学校への入学を辞退します。

転居先住所 _____

第20号様式【県志願資格用】

同居同意書

令和 年 月 日

神奈川県教育委員会教育長

私、 _____ は、令和 年 月 日より、志願者 _____
およびその保護者 _____ と同居することに同意していま
す。

住所 _____

氏名 _____ (印)

志 願 変 更 願

令和 年 月 日

立 高等学校長

受 検 番 号 _____ 番

フリガナ
志 願 者 氏 名 _____

保 護 者 氏 名 _____ 印

次のとおり志願変更をしますので、入学願書等必要書類を返還してください。

志 願 先	立 高等学校 海外・在県・インクループ・中退	の課程	科	コース (部)
		(第2希望	科、	コース(部))
志 願 変 更 先	立 高等学校 海外・在県・インクループ・中退	の課程	科	コース (部)
		(第2希望	科、	コース(部))

横浜市立及び川崎市立の高等学校における志願変更先の高等学校の各通学区域規則上の区分

学区内	学 区 外		
第3条	第4条	第5条	二次募集

中学校長の確認	令和 年 月 日
	中学校名
	校長氏名 _____ 印

受 領 書

- 1 入 学 願 書
- 2 受 検 票
- 3 その他の書類
 - (1)
 - (2)
 - (3)

上記の書類を受領しました。

令和 年 月 日

受 領 者 氏 名 _____ 印

- (注) 1 志願変更先の高等学校の各通学区域規則上の区分は該当する項目を○印で囲むこと。
 2 海外帰国生徒特別募集、在県外国人等特別募集、インクループ教育実践推進校特別募集及び中途退学者募集に係る志願変更の場合は、該当する海外・在県・インクループ・中退の字句を○印で囲むこと。
 3 中途退学者募集の場合、中学校長、中学校名をそれぞれ高等学校長、高等学校名と読み替えること。
 4 第2希望とは、神奈川県公立高等学校の入学者の募集及び選抜実施要領 § 1 のⅢの1の(1)に規定する第2希望をいう。

志 願 取 消 届

令和 年 月 日

立 高等学校長

受検番号 _____ 番

フリガナ
志願者氏名 _____

保護者氏名 _____ 印

次のとおり（ 志願 、 第2希望の志願 ）を取り消します。

志願先	立	高等学校	の課程
		科	コース
			(部)

中 学 校 長 の 確 認

上記のことを了承しております。

令和 年 月 日

中学校名

校長氏名

印

- ※ 志願又は第2希望の志願のどちらかを○で囲むこと。
- ※ 第2希望の志願を取り消す場合、志願先欄には第2希望の志願先を書くこと。
- ※ 志願先の高等学校に提出すること。
- ※ 中途退学者募集の場合は、中学校長の確認欄の記載及び押印は要しない。

入 学 辞 退 届

令和 年 月 日

立 高等学校長

受検番号 _____ 番

フリガナ
志願者氏名 _____

保護者氏名 _____ 印

入学を辞退します。

志願先	立	高等学校	の課程
		科	コース
			(部)

中 学 校 長 の 確 認

上記のことを了承しております。

令和 年 月 日

中学校名

校長氏名

印

※ 合格した高等学校に提出すること。

※ 中途退学者募集の場合、中学校長の確認欄の記載及び押印は要しない。

市立高等学校（全日制的課程）に係る学区確認申請書

（ 横 浜 ）
（ 川 崎 ）

市教育委員会教育長

令和 年 月 日

志願者氏名 _____

保護者氏名 _____

下記事情により、[横浜・川崎]市立高等学校（全日制的課程）のうち、当該の市内全域を学区とする高等学校の学科への志願について、学区確認申請をします。

1 志願者及び保護者の氏名・現住所（転居予定住所）等

志願者	氏名	現住所	
	生年月日 昭和 平成 年 月 日	転居予定住所（予定期日 令和 年 月 日）	
保護者	父	氏名	現住所
			転居予定住所（予定期日 令和 年 月 日）
	母	氏名	現住所
			転居予定住所（予定期日 令和 年 月 日）
		現住所	転居予定住所（予定期日 令和 年 月 日）

2 在学（出身）中学校名 _____ 立 _____ 中学校

3 申請事由
(事由番号) ()

(中学校長の記入欄)

本校在学（又は出身）の志願者 _____ の、[横浜・川崎]市立高等学校（全日制的課程）のうち当該の市内全域を学区とする高等学校の学科への志願について、上記の記載事項に相違ありません。

令和 年 月 日

中学校名
校長氏名
所在地
電話番号

印

※ 提示又は添付書類 1. 住所が確認できる書類又は転居に関する証明書等 2. 念書（第23号様式）
3. 同居同意書（第24号様式） 4. その他（ ）

(注1) この申請書は、横浜市立高等学校（全日制的課程）のうち横浜市内全域を学区とする高等学校又は川崎市立高等学校（全日制的課程）のうち川崎市全域を学区とする高等学校の学科へ志願しようとする者で、かつ申請事由に該当する場合に提出すること。

(注2) []内については、該当するいずれかの字句を○で囲むこと。

(注3) 3の申請事由については、「令和2年度神奈川県公立高等学校の入学者の募集及び選抜実施要領」に記載されている別表（神奈川県公立高等学校の志願資格承認申請及び横浜市立・川崎市立高等学校に係る学区確認申請の事務手続きについて）における事由番号を の中に記入すること。ただし、事由番号が4又は14の場合は、右の（ ）内にもその事由を簡潔に記入すること。

(注4) ※印の欄は、申請者が記入しないこと。

市立高等学校（定時制の課程）に係る学区確認申請書

令和 年 月 日

市立 高等学校長

志願者氏名

下記事情により、横浜市立横浜総合高等学校又は川崎市立高等学校（定時制の課程）のうち川崎市内全域を学区とする高等学校の学科への志願について、学区確認申請をします。

1 志願者及び保護者の氏名・現住所（転居予定住所）等

志願者	氏名	現住所
		転居予定住所（予定期日 令和 年 月 日）
保護者	生年月日 昭和 平成 年 月 日	勤務予定先所在地（予定期日 令和 年 月 日）
	氏名	現住所
		転居予定住所（予定期日 令和 年 月 日）

2 在学（出身）中学校名 立 中学校

3 申請事由
(事由番号)

(中学校長の記入欄)

本校在学（又は出身）の志願者 の、 市立 高等学校への志願について、上記の記載事項に相違ありません。

令和 年 月 日

中学校名
校長氏名
所在地
電話番号

印

※ 提示又は添付書類 1. 住所が確認できる書類又は転居等に関する証明書等 2. 念書（第23号様式）
3. 同居同意書（第24号様式） 4. その他（ ）

(注1) この申請書は、横浜市立横浜総合高等学校又は川崎市立高等学校（定時制の課程）のうち川崎市内全域を学区とする高等学校の学科へ志願しようとする者で、かつ申請事由に該当する場合に提出すること。
(注2) 3の申請事由については、「令和2年度神奈川県公立高等学校の入学者の募集及び選抜実施要領」に記載されている別表（神奈川県公立高等学校の志願資格承認申請及び横浜市立・川崎市立高等学校に係る学区確認申請の事務手続きについて）における事由番号を の中に記入すること。
(注3) ※印の欄は、申請者が記入しないこと。

第23号様式【市学区確認用】

念 書

令和 年 月 日

- () 横浜市教育委員会教育長
() 川崎市教育委員会教育長
() _____市立_____高等学校長

志願者氏名 _____

保護者氏名 _____ ㊟

令和 年 月 日までに次の場所に転居します。

なお、転居を取りやめる場合は、

- () 横浜市立高等学校のうち横浜市内全域を学区とする高等学校
() 川崎市立高等学校のうち川崎市内全域を学区とする高等学校
() _____市立_____高等学校
- への入学を辞退します。

転居先住所 _____

注 []内については、該当するいずれかの () の中に○を記入すること。

第24号様式【市学区確認用】

同居同意書

令和 年 月 日

- () 横浜市教育委員会教育長
() 川崎市教育委員会教育長
() _____市立_____高等学校長

私、_____は、令和 年 月 日より、志願者_____およびその保護者_____と同居することに同意しています。

住所 _____

氏名 _____ ㊟

注 []内については、該当するいずれかの () の中に○を記入すること。

